

上場会社名 株式会社タムラ製作所
証券コード 6768
東京証券取引所 第一部上場

株式会社タムラ製作所

2019年3月期 決算概要

本資料は、決算説明会（2019年5月14日）で使用した資料に、5月20日に発表した決算数値の訂正を反映させています。



TAMURA

Your One and Only Company

1. 2019年3月期 決算概要
2. 第12次中期経営計画
3. 2020年3月期 通期業績予想

【付録】参考資料

1. 2019年3月期 決算概要

損益計算書（要約）

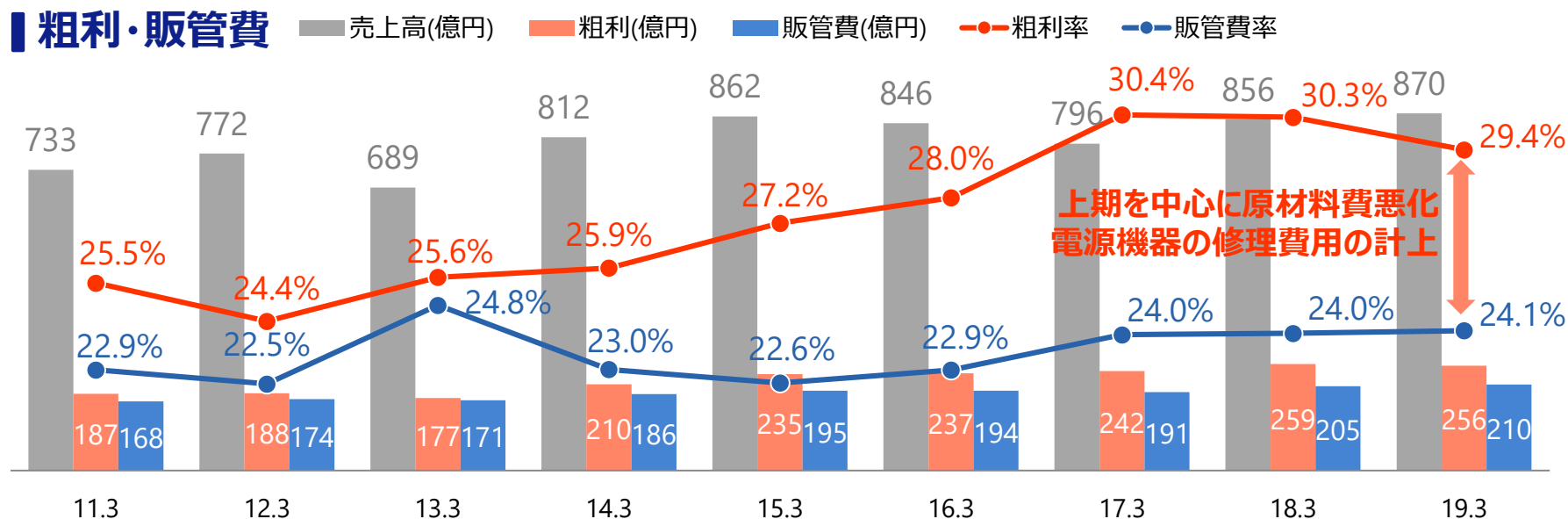
- ◆ 米中貿易摩擦を背景とした中国経済の減速などを背景に、売上は前年より微増
- ◆ 電源機器の不具合に伴う修理費用の計上などにより、営業利益は前年を大幅に下回る
- ◆ 損害賠償請求訴訟に基づく和解金を特別利益に計上し、当期利益は過去最高益を更新

[百万円]

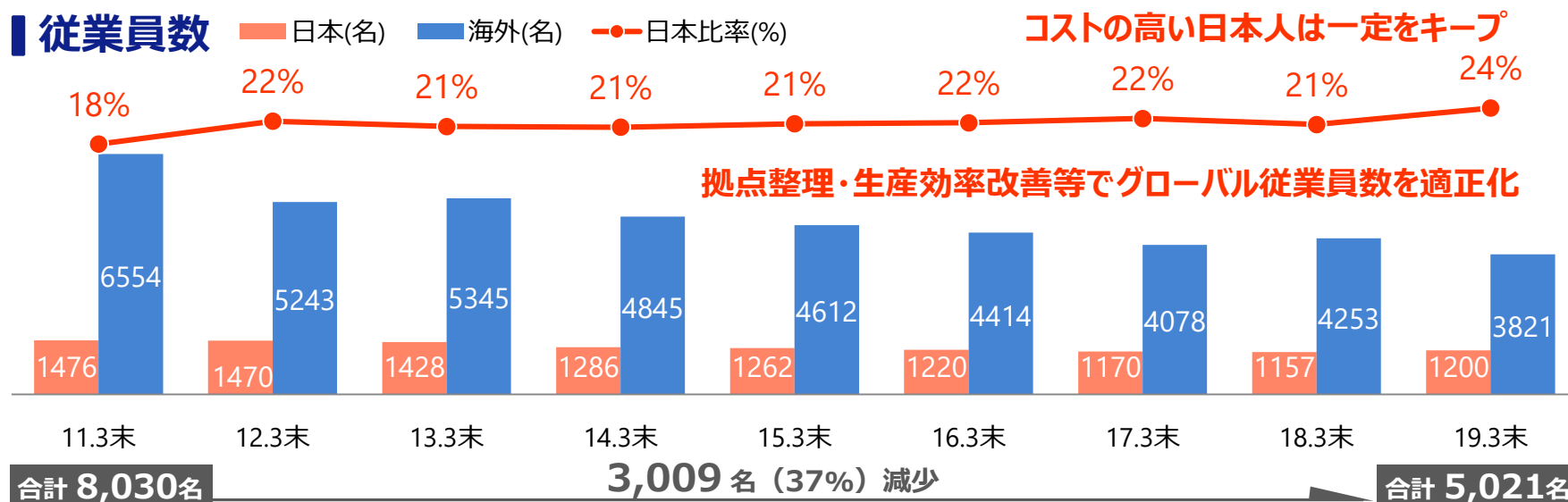
		2018.3期			2019.3期			2019.3期	
		実績	構成比	前期比	実績	構成比	前期比	直近予想	構成比
売上高		85,558	100.0%	+7.5%	87,008	100.0%	+1.7%	86,100	100.0%
	売上原価	59,609	69.7%	+7.6%	61,447	70.6%	+3.1%	-	-
	販管費	20,541	24.0%	+7.7%	20,964	24.1%	+2.1%	-	-
営業利益		5,407	6.3%	+5.7%	4,600	5.3%	▲14.9%	4,800	5.6%
経常利益		5,480	6.4%	+7.7%	4,848	5.6%	▲11.5%	4,700	5.5%
当期純利益		3,630	4.2%	▲2.6%	6,397	7.4%	+76.2%	6,100	7.1%
為替 (円/米ドル)	期中平均	110.59		+2.61	110.02		▲0.57	110.00	
	期末	106.24		▲5.95	110.99		+4.75	110.00	
1株当り配当		9.00円		0.00円	10.00		+1.00円	10.00	
配当性向		20.3%		+0.5pt	12.8%		▲7.5pt	13.4%	
ROE		9.0%		▲1.0pt	14.3%		+5.3pt	13.5%	

粗利・販管費・従業員数の推移

粗利・販管費



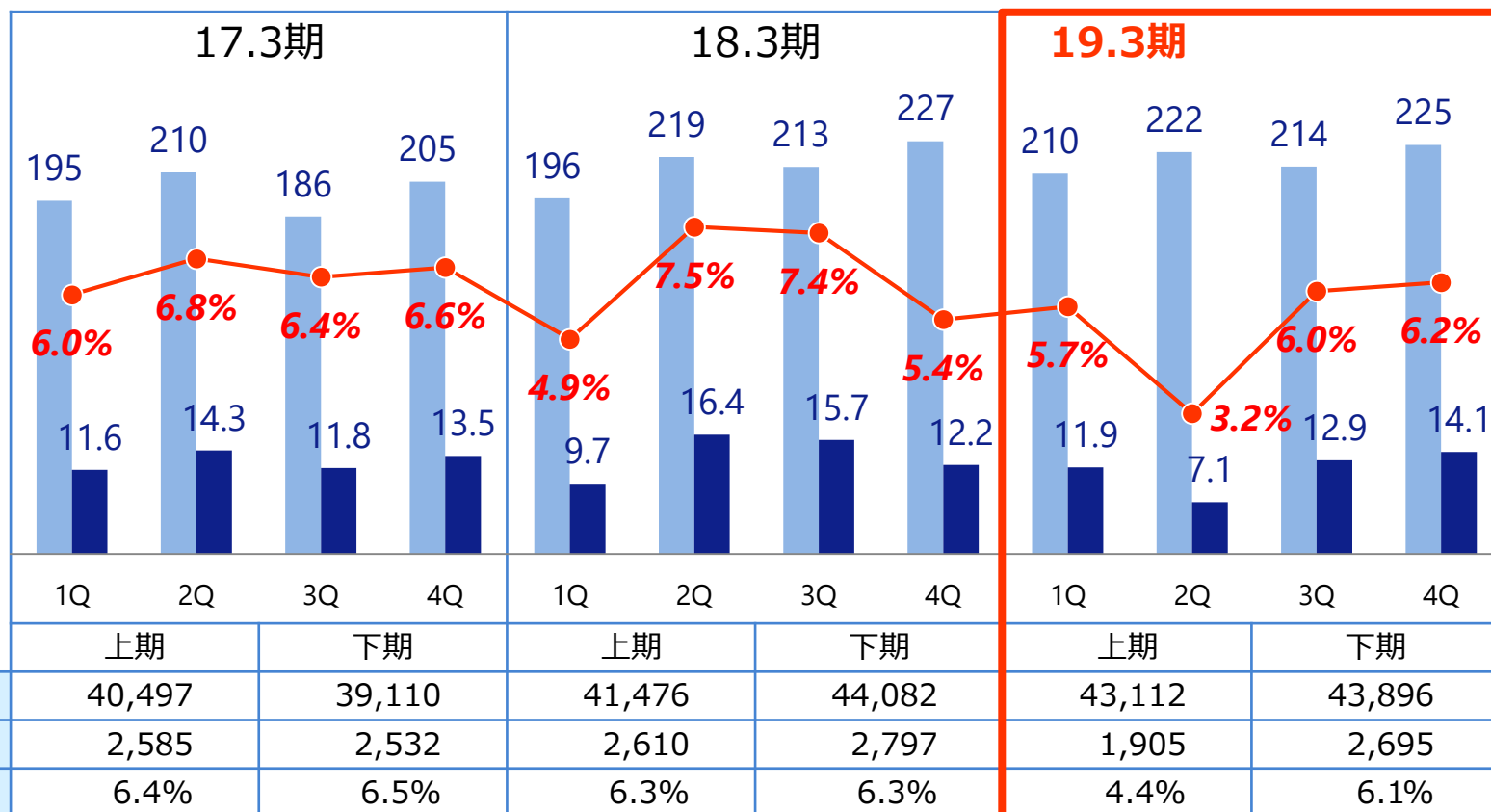
従業員数



四半期別の売上高・損益

- ◆ 上期はスマートフォン関連が早目に立ち上がるが、中国工場は部材調達難などにより収益性が悪化
- ◆ 下期はスマートフォン関連が急減速。一方、中国工場の収益性は改善へ進む
- ◆ 第2四半期は電源機器の不具合に関する修理費用の計上（6億円）により、営業利益が一時的に減少

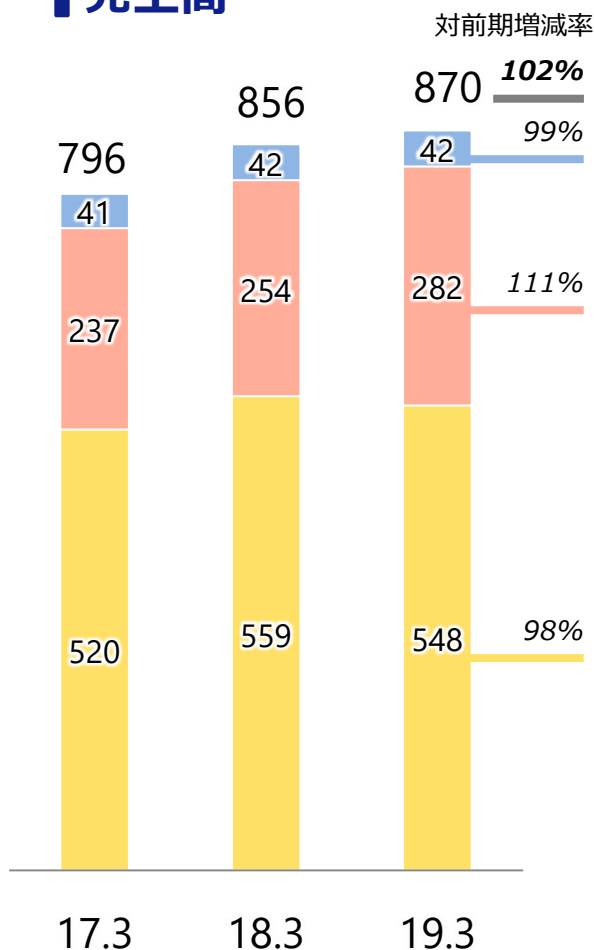
売上高(億円) 営業利益(億円) 営業利益率(%)



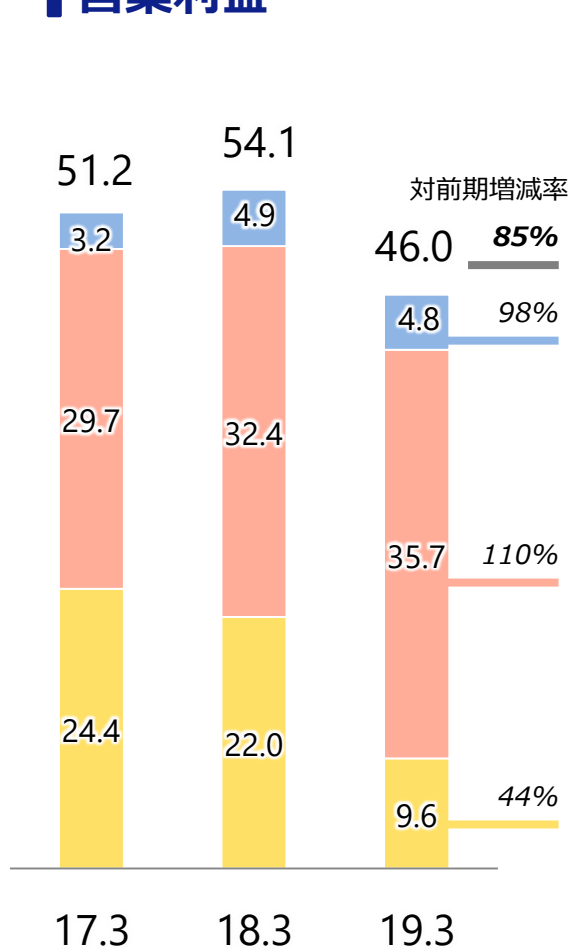
事業部門別の売上高・損益

■ 電子部品関連事業 ■ 電子化学実装関連事業 ■ 情報機器関連事業 ■ 全社 [億円]

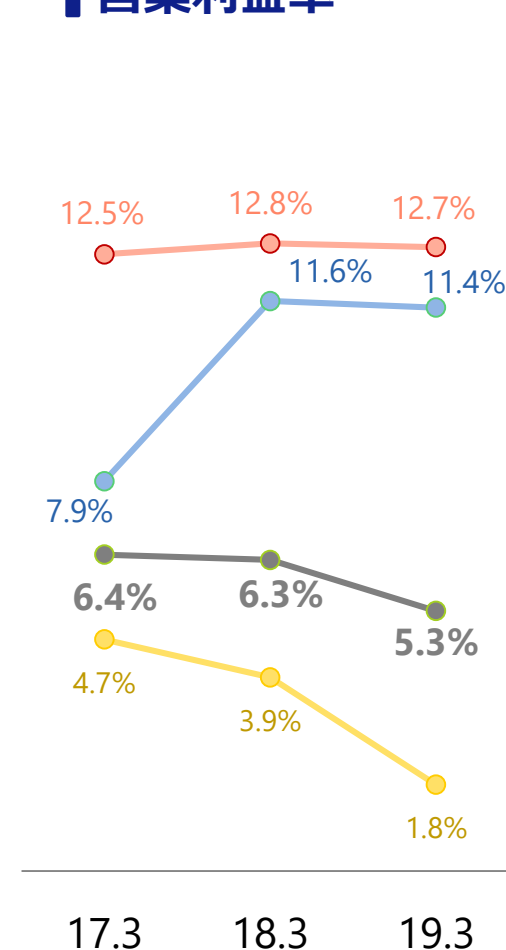
売上高



営業利益



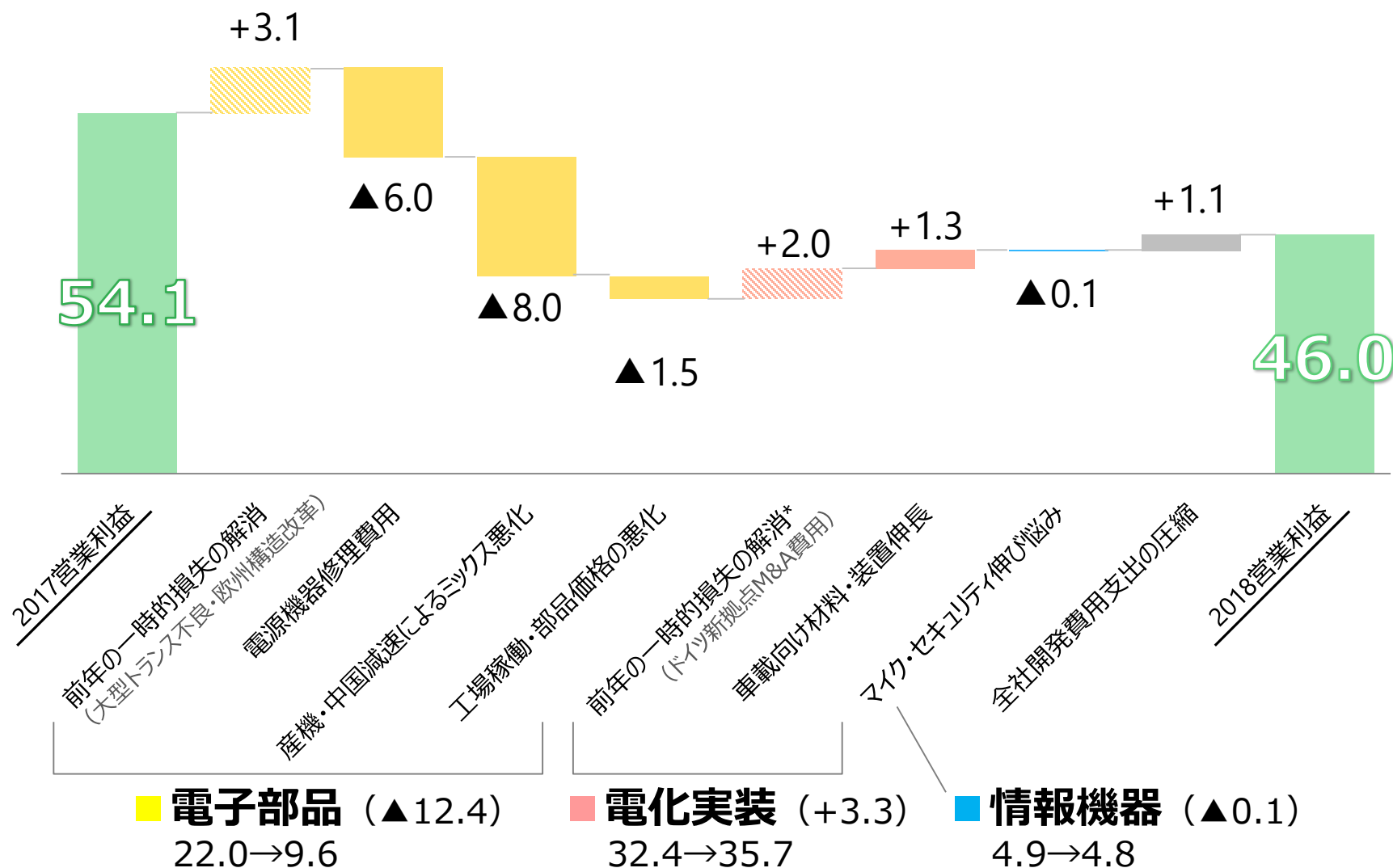
営業利益率



注: 連結消去 (主に全社未来開発費) により、営業利益の全社の値と、事業部門の合計が一致しません。

■ 全社営業利益の増減要因

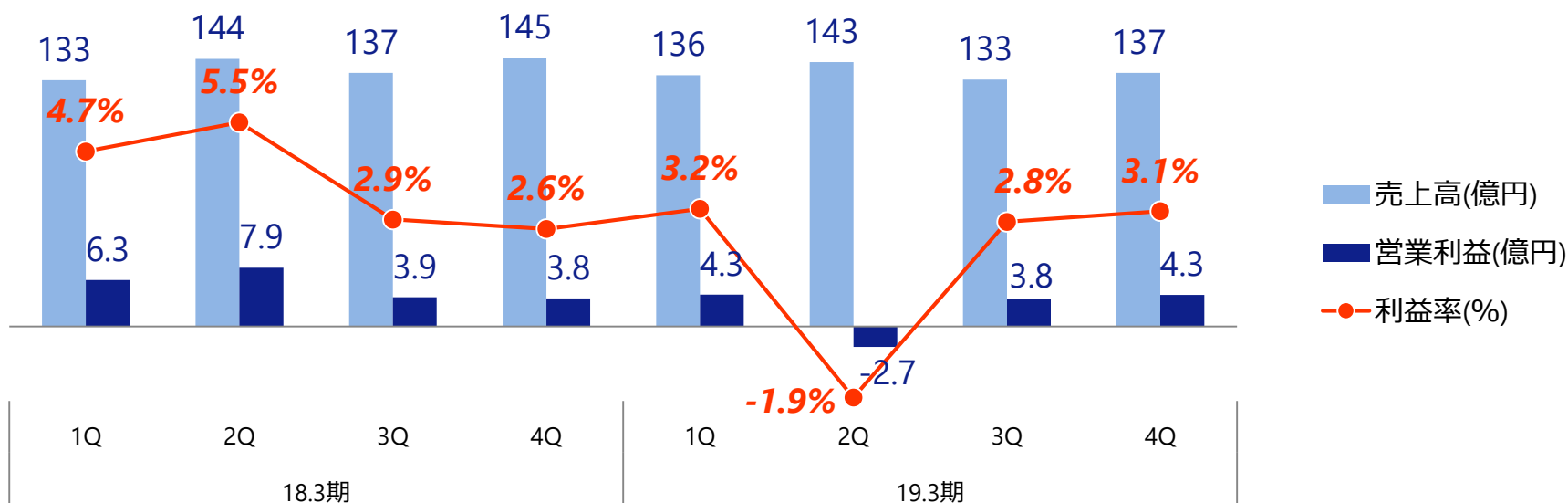
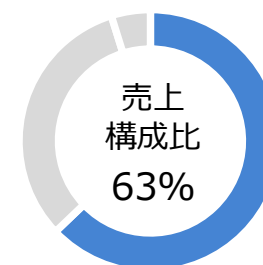
[億円]



【事業部門別】電子部品関連事業の実績①

- ◆ 上期は中国工場の採算悪化や、電源機器の不具合に伴う修理費用の計上により、営業利益が減少
- ◆ 下期は工場稼働は正常に向かうも、産業機械向けのトランス・リアクタ・電流センサなどの需要が低迷

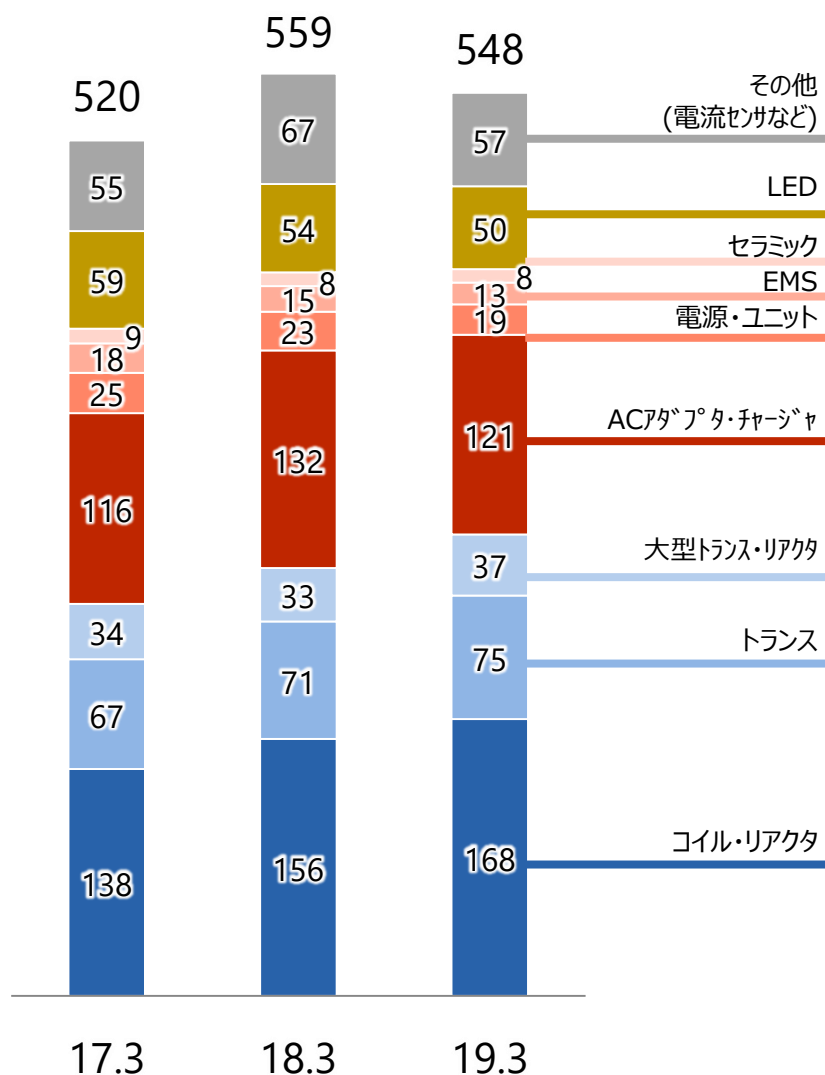
[百万円]	18.3期		19.3期		19.3期
	実績	前期比	実績	前期比	直近予想
売上高	55,875	+7.5%	54,794	▲1.9%	54,200
営業利益	2,197	▲10.1%	961	▲56.2%	1,190
営業利益率	3.9%	▲0.8pt	1.8%	▲2.2pt	2.2%



【事業部門別】電子部品関連事業の実績②

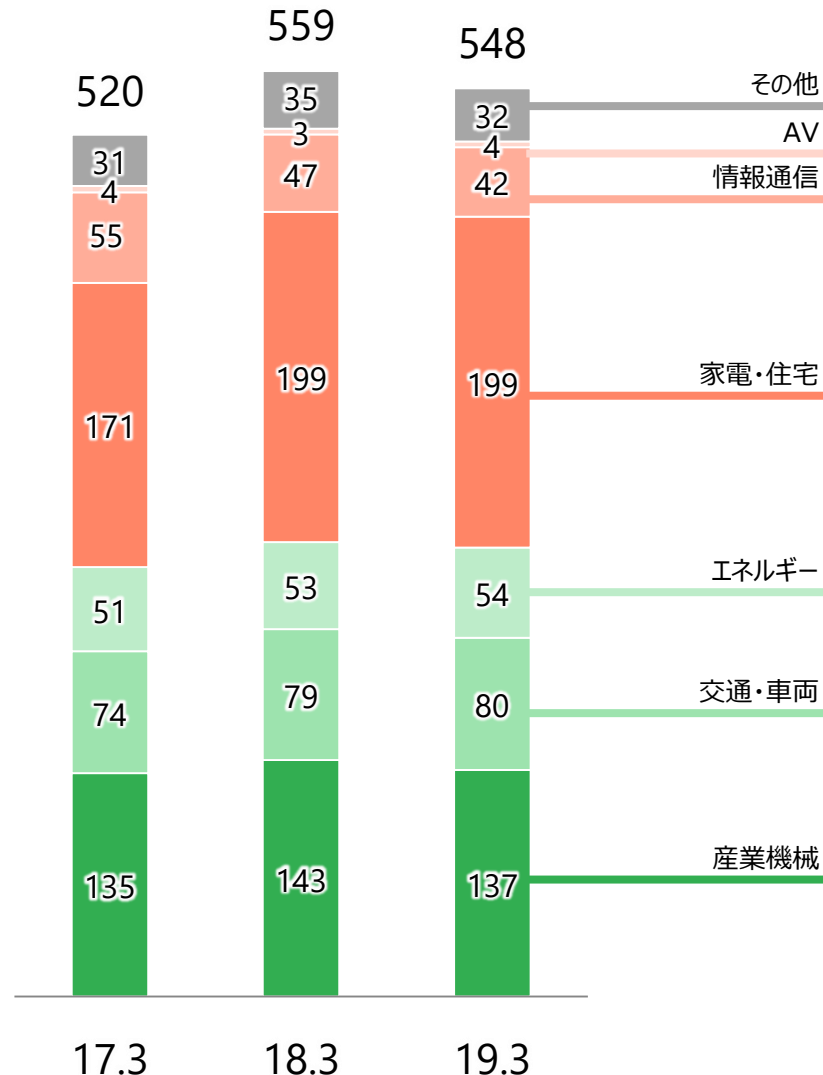
製品別 売上高

[億円]



市場別 売上高

[億円]



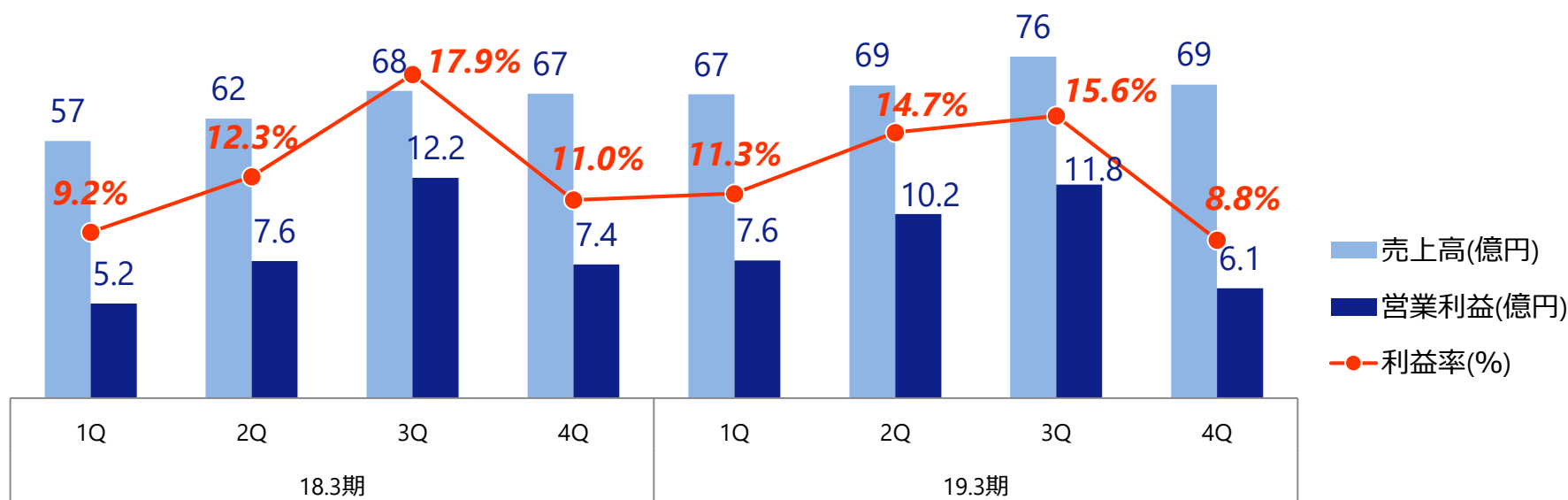
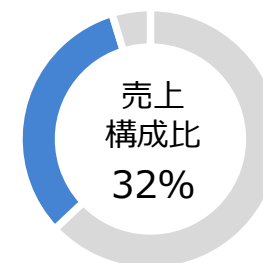
※「その他」に含まれるサーマル事業は2018年10月1日付で事業譲渡完了

【事業部門別】電子化学実装関連事業の実績①

- ◆ スマートフォン向けのフレキシブル基板用溶剤レジストが例年より早く立ち上がるが、下期に急減
- ◆ ドイツ・タイ新拠点の連結化で売上増加※ 車載向け材料・装置は年間を通じて堅調

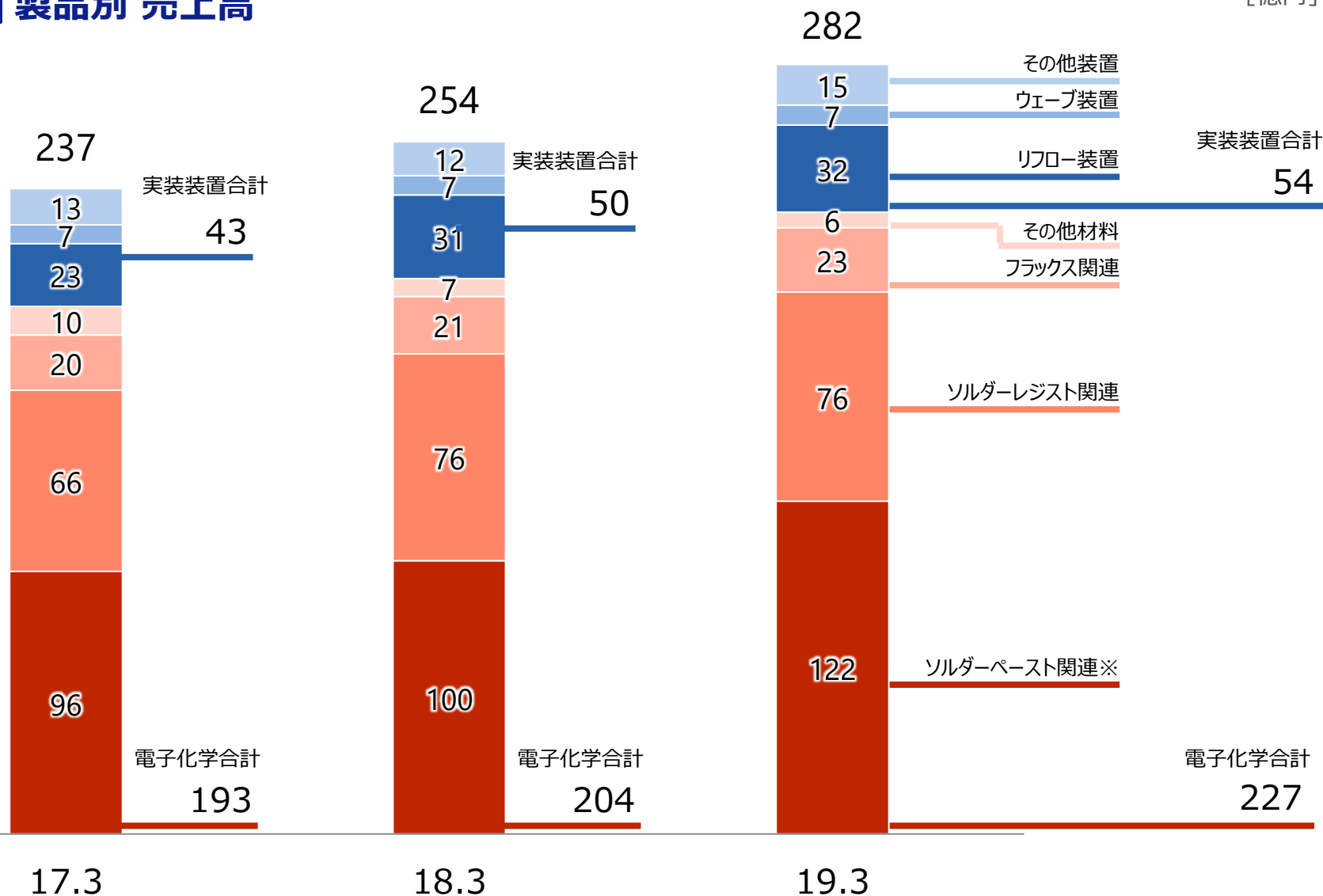
※ドイツで年間売上約20億円増加。タイは外注工場の連結子会社化につき年間売上約10億円が減少。 差引で売上約10億円が増加。利益への影響は軽微。

[百万円]	18.3期		19.3期		19.3期
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	直近予想
売上高	25,443	+7.3%	28,164	+10.7%	27,800
営業利益	3,244	+9.2%	3,572	+10.1%	3,710
営業利益率	12.8%	+0.2pt	12.7%	▲0.1pt	13.3%



製品別 売上高

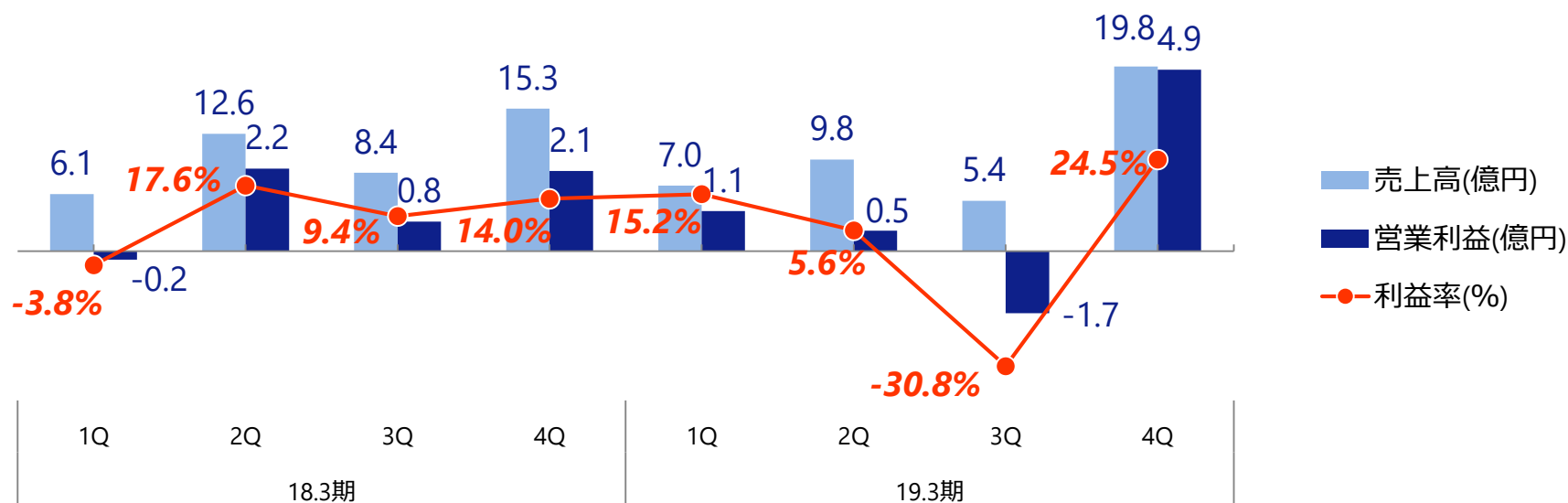
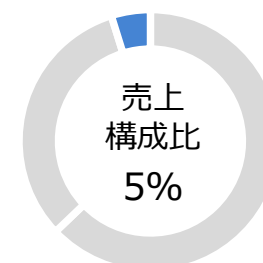
[億円]



※ソルダーペースト関連は、2018年度より連結子会社化した ドイツ・タイ新拠点の影響で、年間売上約10億円が増加

- ◆ 音声卓（ミキサー）の売上が、国際的なスポーツイベントの開催、放送局の更新需要などに向けて4Qに集中
- ◆ ワイヤレスマイクロホンシステムやセキュリティ機器は、新製品の開発や拡販が遅延し伸び悩む

[百万円]	18.3期		19.3期		19.3期
	実績	前年同期比	実績	前年同期比	直近予想
売上高	4,233	+4.4%	4,202	▲0.7%	4,100
営業利益	491	+52.4%	482	▲1.8%	390
営業利益率	11.6%	+3.7pt	11.5%	▲0.1pt	9.5%

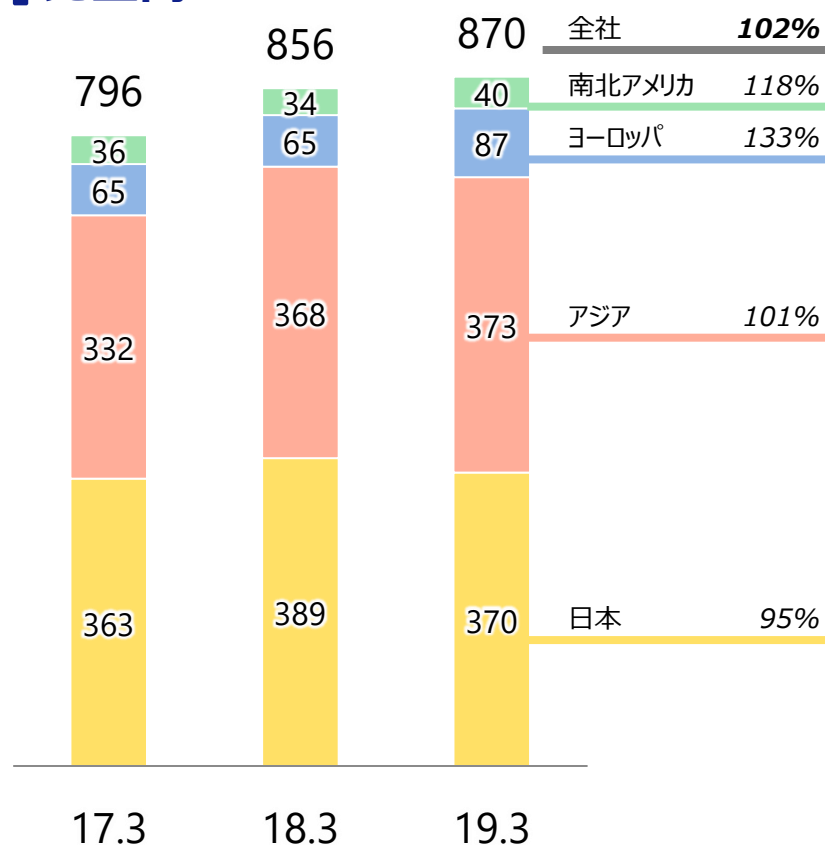


- ◆ アジアでは中国市場向けが伸び悩む。日本もスマートフォンや産業機器の減速により減収減益
- ◆ ヨーロッパは電子化学ドイツ新拠点の設置で売上増加

[億円]

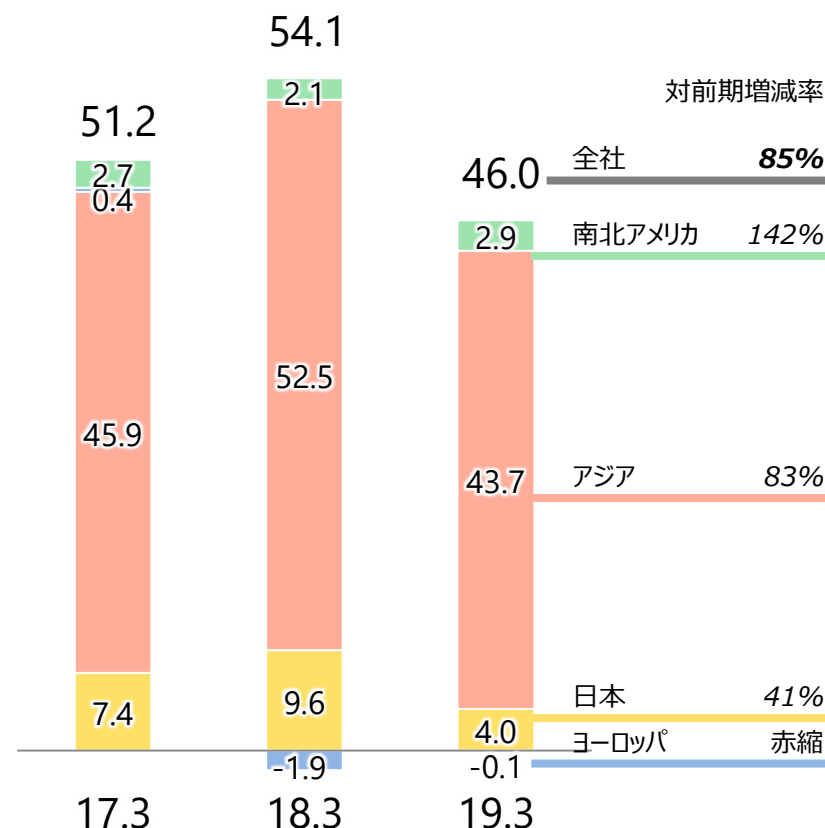
売上高

対前期増減率



営業利益

対前期増減率

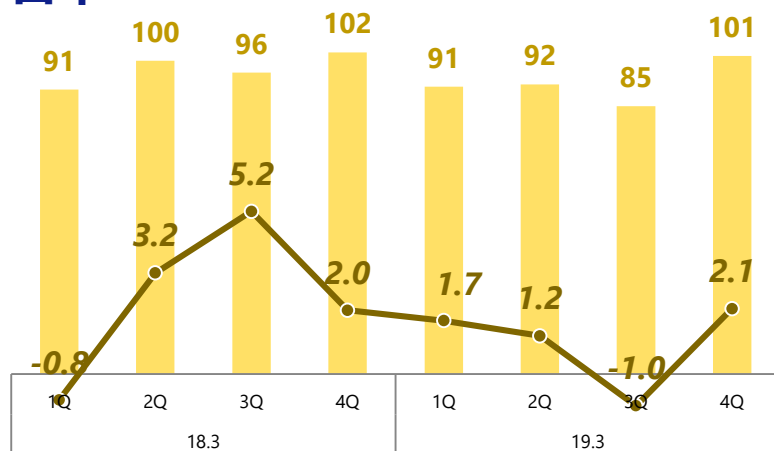


注: 連結消去により、営業利益の全社の値と、地域の合計が一致しません。関係会社間における事業支援金のやりとりは無いものとして地域別営業利益を表示しています。

地域別の売上高・損益（四半期推移）

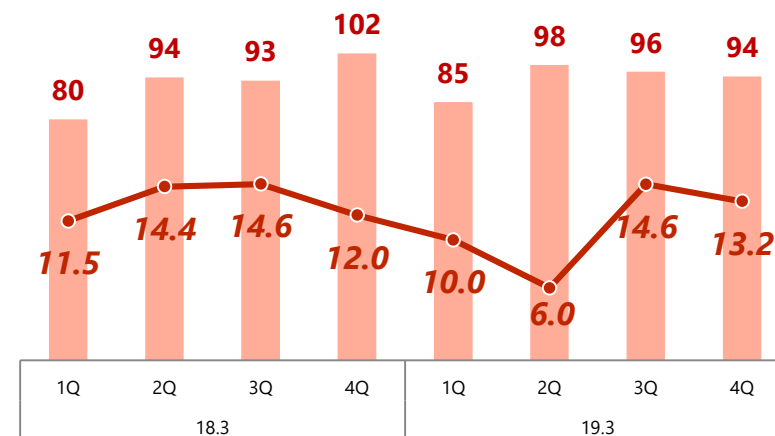
売上高(億円) 営業利益(億円)

日本



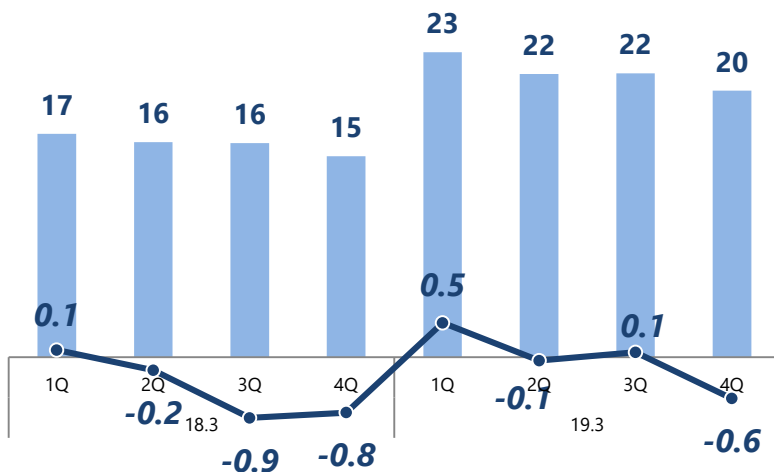
※19.3期3Qより坂戸新棟の償却費発生

アジア

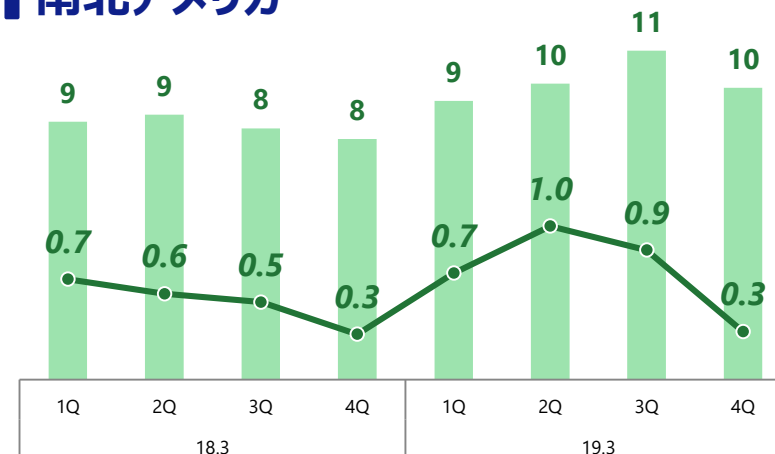


※19.3期2Qに電源機器修理費用計上

ヨーロッパ



南北アメリカ

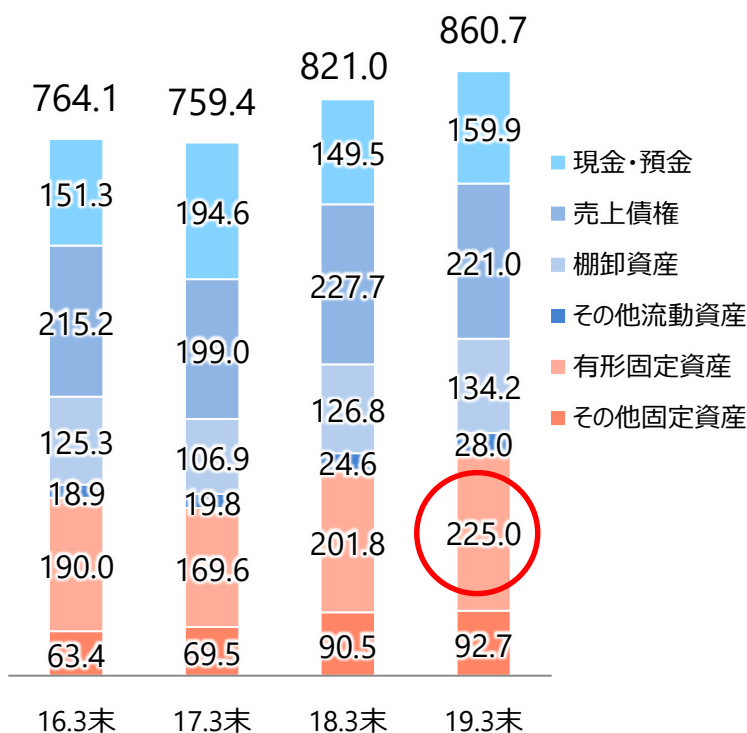


※19.3期よりM&Aによる電子化学ドイツ拠点の数字が含まれる。利益には、ドイツのれんと英国拠点整理費用が影響。

- ◆ 有利子負債圧縮は一定の水準に到達したので、車載関連などの事業拡大に向けた資金準備に舵を切る
- ◆ 坂戸事業所・若柳工場の建替、タイ工場の完成による、固定資産増加

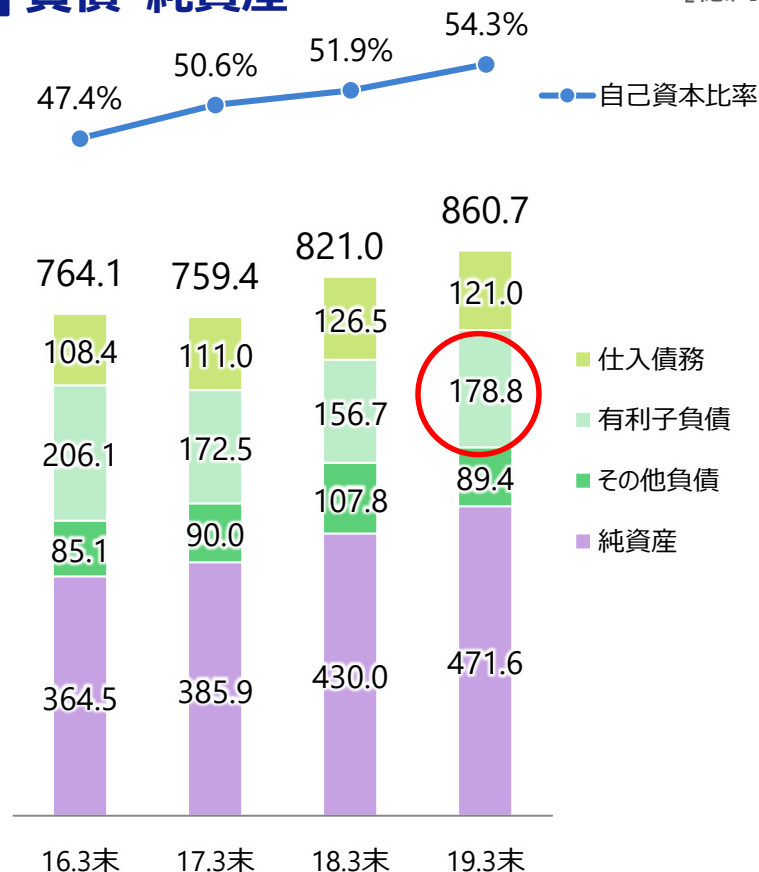
資産

[億円]



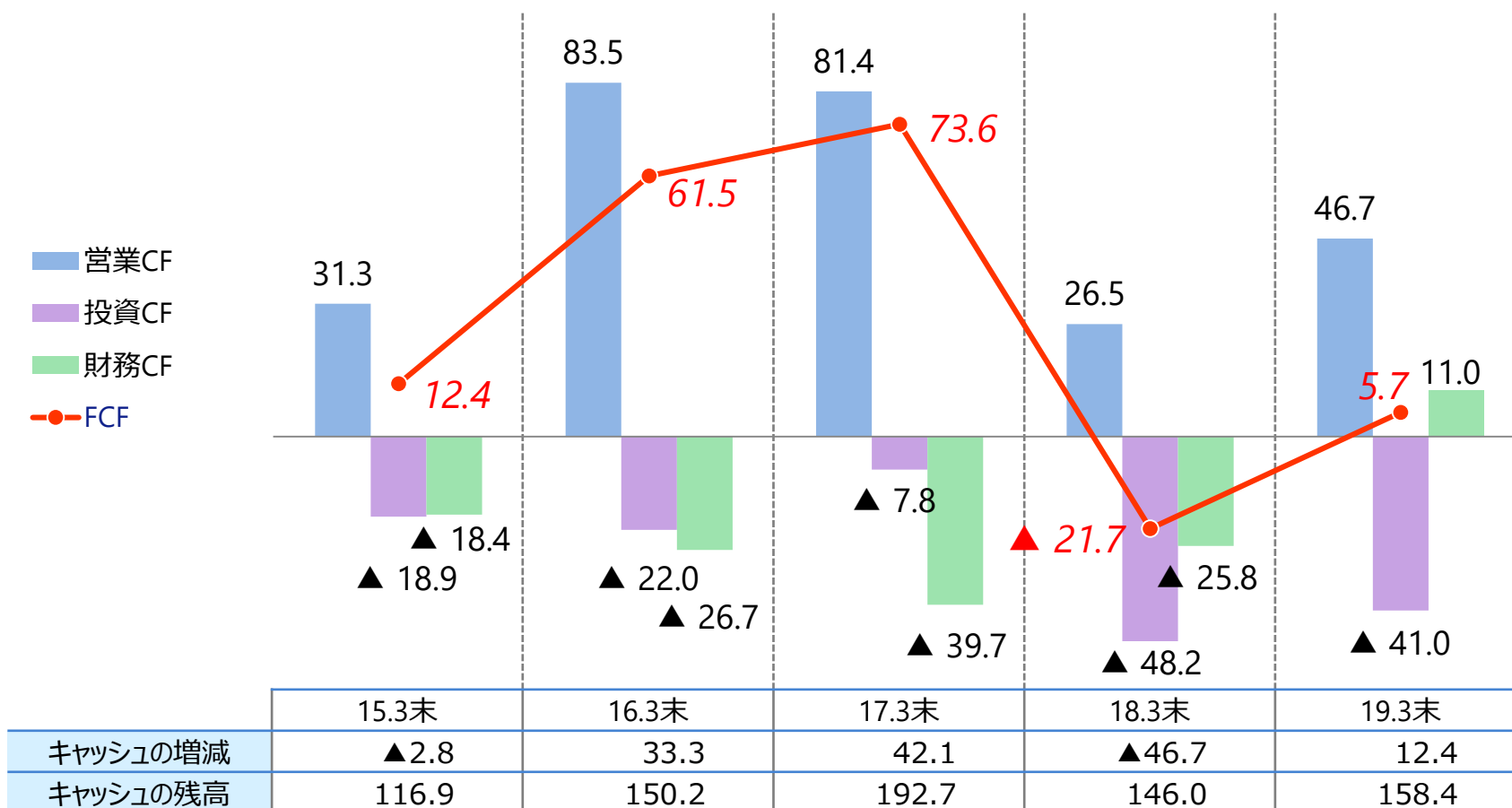
負債・純資産

[億円]



- ◆ 営業CF：利益増加、売上債権が減少
- ◆ 投資CF：坂戸事業所・若柳工場の建て替え、タイ工場の完成による、固定資産取得
- ◆ 財務CF：車載関連などの事業拡大に向けた資金準備

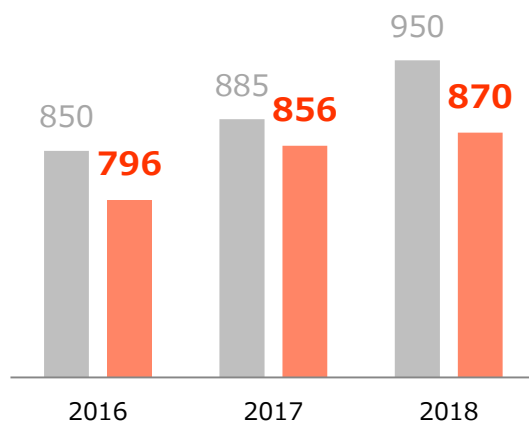
[億円]



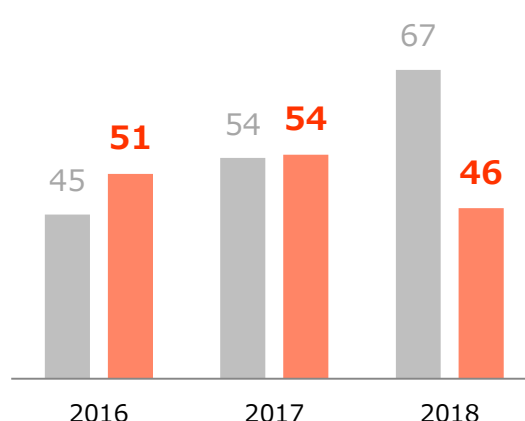
2. 第12次中期経営計画

- ◆ 収益性の向上を第一の目標として活動を進め、中期第1・第2年度は営業利益過去最高を2期連続で更新
- ◆ 市場環境の悪化、海外工場の品質問題などの影響を受け、最終年度で営業利益が失速
- ◆ 損害賠償請求訴訟に基づく和解金計上により、最終年度の当期利益は過去最高益を更新

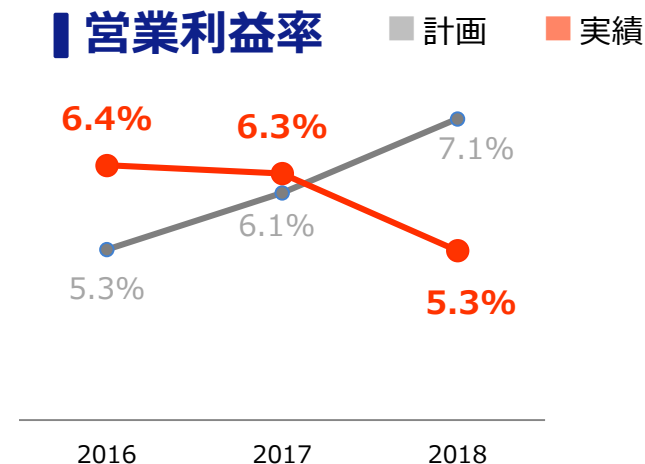
売上高（億円）



営業利益（億円）



営業利益率



目標とする経営指標

	2016実績 (第1年度)	2017実績 (第2年度)	2018実績 (第3年度)	中期計画目標
営業利益率	6.4%	6.3%	5.3%	7%以上
ROE	10.0%	9.0%	14.3%	9%以上
非日系売上比率	29%	29%	29%	30%以上

■ 反省

成長戦略未達成
スマホ依存

品質問題による
利益流失

海外売上・非日系
売上の伸び悩み

低採算子会社の業績
が景況で大きく左右

■ 成果

車載リアクタはじめ各種
車載関連事業が進展

将来に向け電子化学
ドイツ・タイ拠点を設置

サーマル事業売却など
事業の整理統合

グローバルITシステム
による個別原価管理

■ 課題

グループ丸で
車載を中心とした
成長戦略に取り組む

「働き方改革」と「利益
創出力向上」の両立

グローバル次世代育成
と地域戦略推進

新役員体制でコーポ
レートガバナンス強化

第12次 中期経営計画

Biltrite Tamura

The 12th Mid-term Plan 2019-2021 & 2024

GROWING ANEW

Biltrite = Build up + Right
(作る) (正しく)

ANEW = 「新たに」 「改めて」

創業100周年 (2024年) に向けて描く、新たな成長ストーリー



100周年とその先の
タムラグループの持続的成長

Plan
2024

創業100周年“ありたい姿”の実現

6年後

Plan
2021

100周年での開花に向けた体制構築

3年後

現在 **ANEW** **新たな成長のスタート**

世の中の期待

世界の
持続可能な発展

エコテクノロジーによる
社会的問題の解決

ダイバーシティ

働き方改革

タムラの“ありたい姿”

財務

100周年とその先に続く
持続的な成長

顧客

魅力ある製品
感動を与える製品

業務

グローバル！

人材

人が憧れる会社
人が集まる会社

企業の運営

適正収益確保

製品・市場
の見極め

組織・人材
最適配置

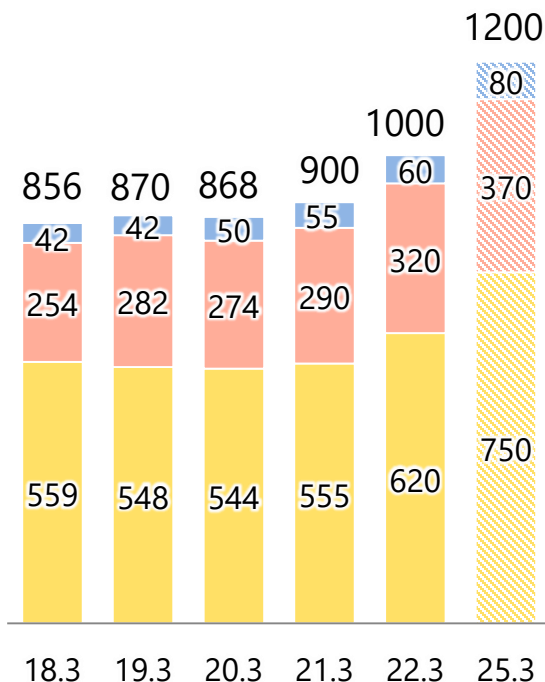
業務効率アップ°



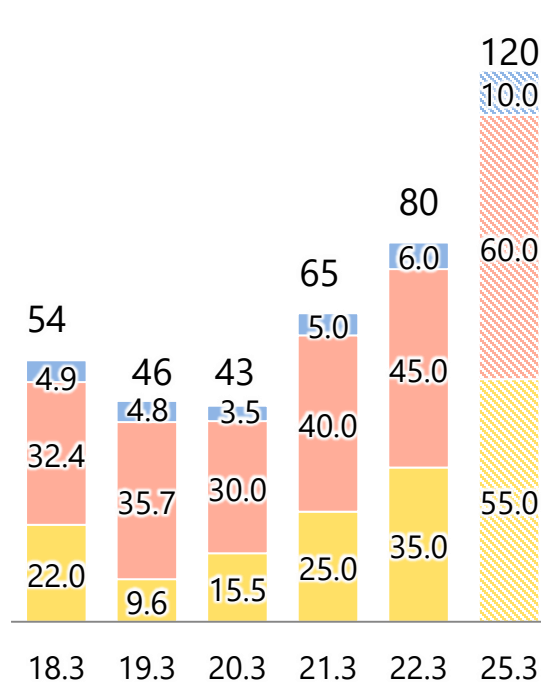
SDGsの深化

■ 電子部品関連事業 ■ 電子化学実装関連事業 ■ 情報機器関連事業 ■ 全社 [億円]

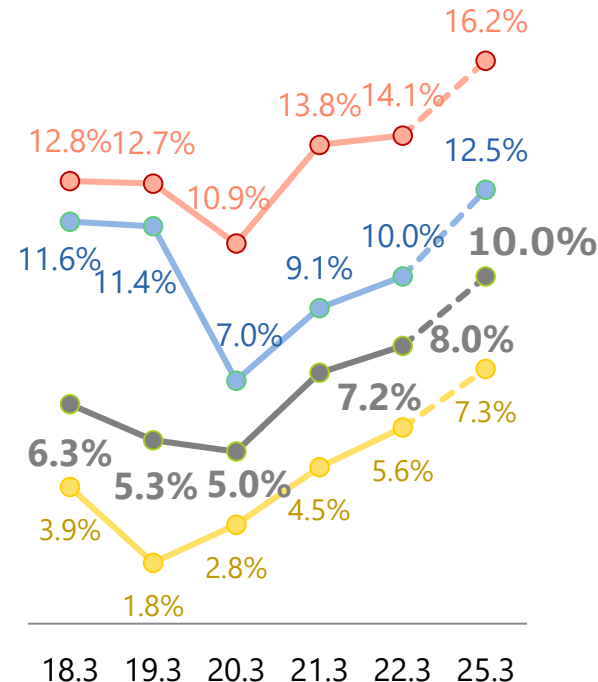
売上高



営業利益



営業利益率



注: 連結消去（主に全社未来開発費）により、営業利益の全社の値と、事業部門の合計が一致しません。

目標とする経営指標

	2019 (第1年度)	2020 (第2年度)	2021 (第3年度)	2024年度 (100周年)
営業利益率	5.0%	7.2%	8.0%	10.0%以上
ROE	6%以上	8%以上	9%以上	10%以上

車載（クルマの変化）

Electric Shared/Service Autonomous Connected

C

IoT・次世代通信

- ▶ 5G
- ▶ LTE
- ▶ 各種通信技術

A

- ▶ 自動運転
- ▶ 運転支援
- ▶ センシング
- ▶ シェアリング
- ▶ MaaS
- ▶ エンターテインメント

S

パワーエレクトロニクス

- ▶ 動力（内燃→モーター）
- ▶ 電池
- ▶ エネルギーインフラ
- ▶ 創エネ
- ▶ 省エネ

E

Oneタムラで

自動車搭載部品数の
莫大な増加

半導体の進化

各種センサ

フレキシブル
エレクトロニクス

エネルギー変換

充電・給電

省エネ・高効率

発電・送電



接合材料

- ・溶ダーペースト

プリント配線板材料

- ・溶ダーレジスト

実装装置

各種センサ

- ・電流センサ
- ・人感センサ

エネルギー変換

- ・昇圧リアクタ
- ・コイル

充電

- ・充電用リアクタ

パワー半導体

- ・酸化ガリウム
- ・ゲートドライバ

エネルギー

- ・大型トランス・リアクタ

事業共同戦略

	車載	パワー エレクトロニクス	IoT 次世代通信
電子部品	昇圧リアクタ・コイル 高信頼性 充電器用リアクタ 電流センサ	大型トランス・リアクタ ゲートドライバ 酸化ガリウムパワー半導体 (カーブアウトベンチャーにて事業化)	自販機用金額表示器 人感センサ（見守り）
電子化学 材料	車載用溶剤ペースト 車載用溶剤レジスト 耐クラック性 耐熱性・耐湿性 高信頼性	パワーデバイス用 無残渣ペースト 耐熱性	フレキシブル基板用溶剤レジスト レーザーはんだ付ペースト 可逆伸縮性接合材 フレキシブル 半導体用溶剤ペースト 導電性接合材
実装装置	車載用リフローはんだ付 装置		実装装置のスマートファクト リー対応 ネットワーク化
情報機器			4K・8K音声卓 音声装置のネットワーク対応

製品戦略・顧客戦略の横展開

- ▶ タムラは各分野で卓越した製品・技術を持っている。
- ▶ Oneタムラとしてベストプラクティスを共有し、成長市場に取り組んでいく

環境対応車の普及 安全快適な走行を支える



PCU

- ・車載リアクトル
- ・コイル
- ・電流センサ
- ・酸化ガリウム

ECU、TCU、IVI

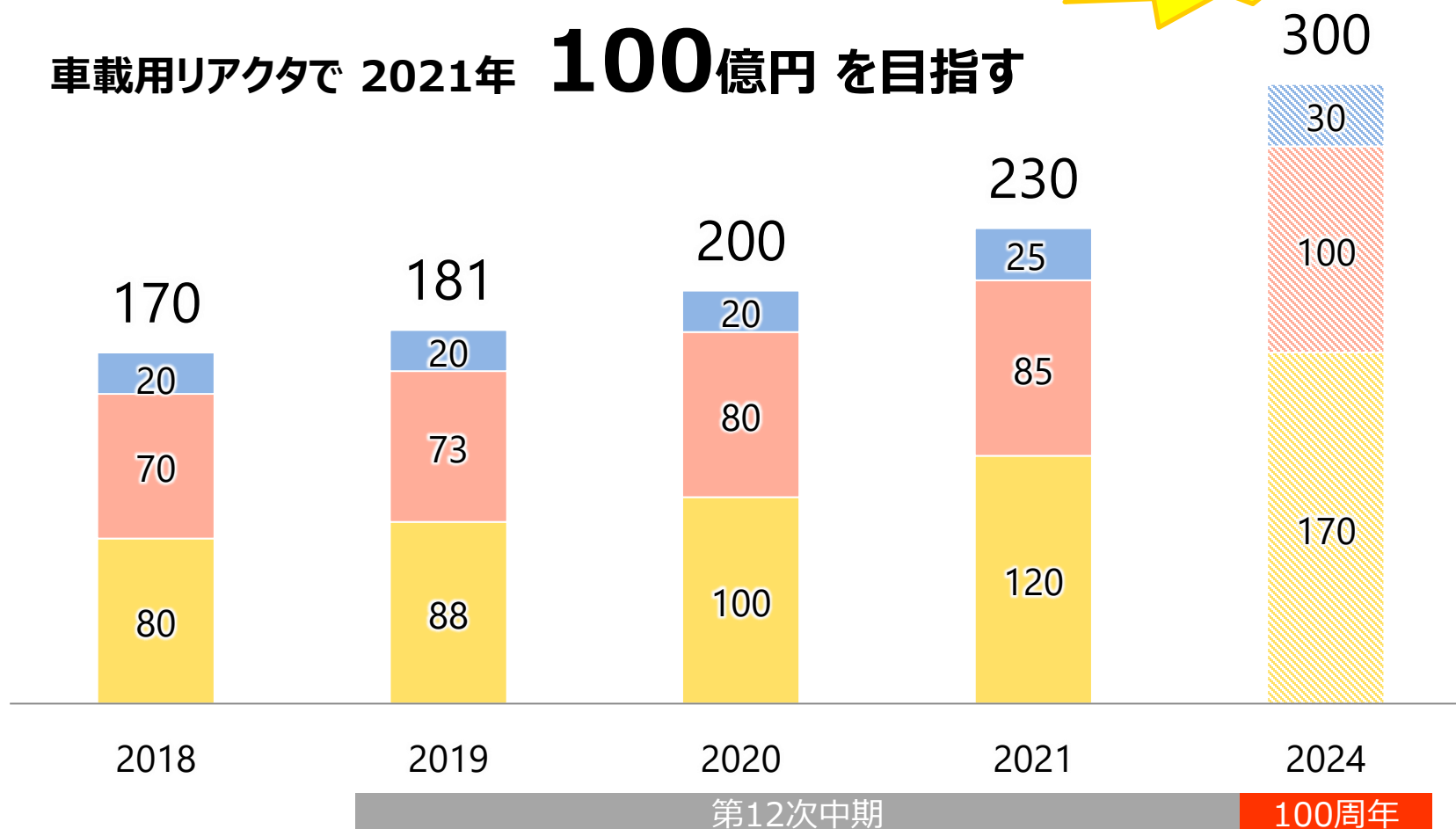
- ・フラックス
- ・ソルダーペースト
- ・ソルダーレジスト
- ・リフロー装置

PCU : Power Control Unit
ECU : Electric Control Unit
TCU : Telematic Control Unit
IVI : In-Vehicle Infotainment



■ 電子部品関連事業 ■ 電子化学 ■ 実装装置 [億円]

■ 車載市場向けタムラグループ売上高

グループ全体で 100周年 **300**億円車載用リアクタで 2021年 **100**億円 を目指す対基準年 **176%**

環境車向け昇圧リアクタ増加の背景

- ハイブリッド車やプラグインハイブリッド車、電気自動車、燃料電池車などの環境対応車の普及拡大に伴い、昇圧リアクタの市場ニーズが拡大しております。
- これまでは、ストロングハイブリッド車(昇圧システムを搭載した車両)の需要は、限定的となっておりますが、直近におきましては、厳しい燃費規制に対応するため、ストロングハイブリッド車の需要が急速に拡大する見通しとなっております。
- こうした将来に向けたグローバルな需要拡大に対応するため、生産能力増強が必要な状況となっております。



環境車向け昇圧リアクタ以外の需要

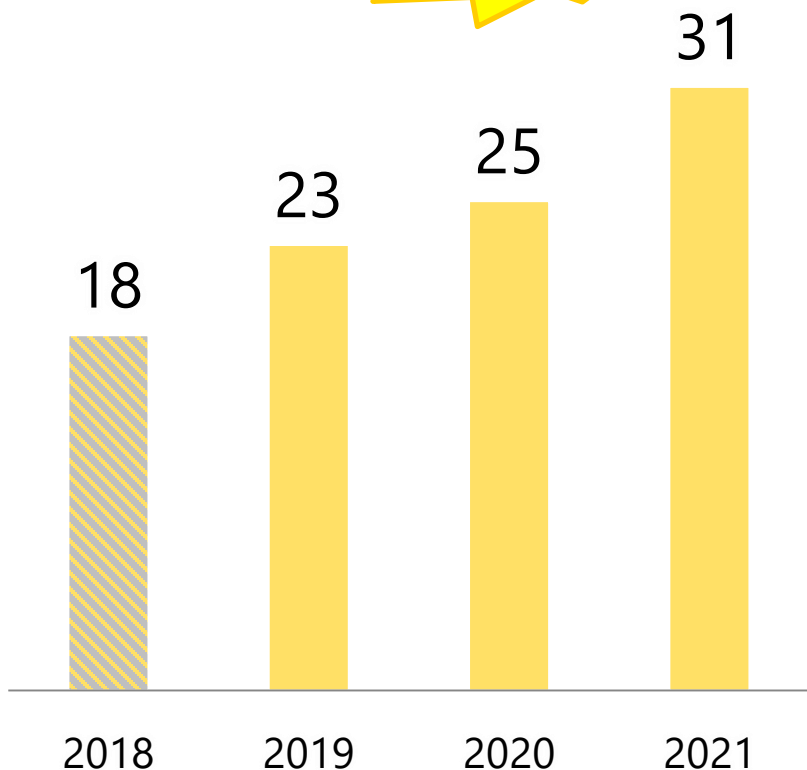
- プラグインハイブリッド車、電気自動車に搭載される充電器用リアクタやその他の電子機器に使用するトランス・コイルについてもグローバルに需要が拡大しており、昇圧リアクタ以外の市場ニーズにも対応してまいります。



■ 電流センサ売上高

産機向けに加え、車載向け参入も目指す

対基準年 **170%**



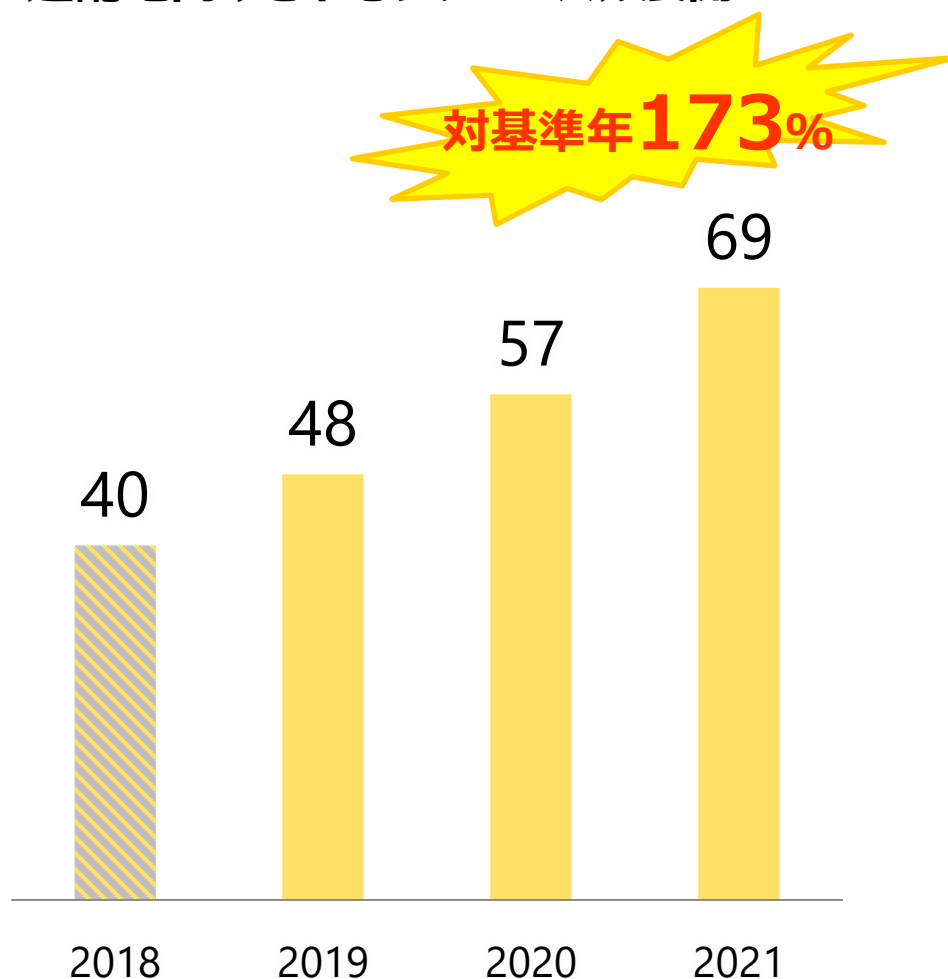
電流センサ



自然エネルギーの有効利用には、機器の電流を高精度に監視する必要があります。充実したラインナップ（電流レンジ、精度レンジ）で、省エネ・創エネ・蓄エネに貢献します。

■ 大型トランス・リアクタ売上高

送配電向けを中心にグローバル展開

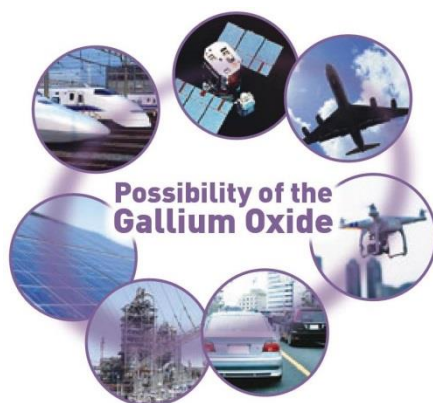


大型トランス・リアクタ



大規模な風力・太陽光発電設備などにおいて、大型トランスは電圧変換、リアクタは電圧制御やノイズ除去のための基幹部品。省エネルギー、クリーンエネルギーに貢献します。

新しいパワーデバイス用半導体材料として酸化ガリウムが世界的な注目を集めています。炭化ケイ素（SiC）や窒化ガリウム（GaN）よりもバンドギャップエネルギーが大きいため、低消費電力と高耐圧を兼ね備えたパワーデバイスの実現が可能となります。また、融液成長法による単結晶育成が可能のため、高品質で大口径の単結晶基板を安価に提供できます。



- 2015年 6月 株式会社ノベルクリスタルテクノロジーを設立
外部の資本を積極的に取り込み、独立した経営陣でスピーディーな開発、事業化推進を行うため、タムラ製作所からのカーブアウトベンチャーを設立
- 2017年11月 世界初、酸化ガリウムエピ膜を用いたトレンチMOS型パワートランジスタの開発に成功
- 2019年 4月 高品質β型酸化ガリウム膜形成技術の開発に成功
酸化ガリウムパワーデバイスの大電流化に目処

2019年下期には、10～30A、650V酸化ガリウムトレンチ型SBDのサンプル出荷を開始、2021年本格量産を目指します。

今後の展開



タムラ製作所

- 特許技術供与
- 技術支援・販売支援
- 周辺製品・材料のコラボレーション



ノベルクリスタルテクノロジー Novel Crystal Technology, Inc.

- 酸化ガリウムパワーデバイスの製品化
- 酸化ガリウムパワーデバイスの製造



リフローはんだ付装置



実装ラインにおいて装置同士を連携する
スマートファクトリー対応

人感センサ



人の活動状況や
睡眠を見守るセンサ

DECT規格インターカムシステム



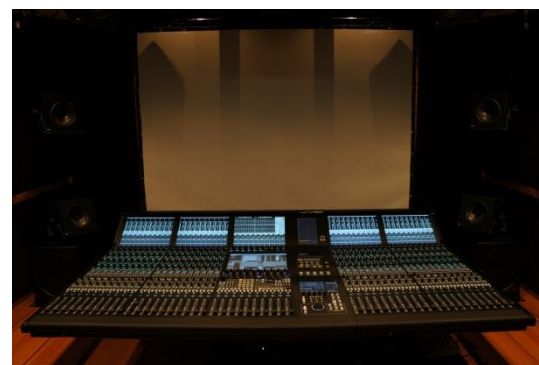
直観的に使用できる操作性はそのままに、
利便性の向上と大規模なシステムの構築が可能

自動販売機用金額表示器



表示や商品選択だけでなく、スマートフォンとの
連動など最新機能を実現

4K・8K放送用音声卓"NT900"



22.2マルチチャンネル音響対応デジタル音声調整卓
スーパーハイビジョン番組制作における、
生放送・音声収録、編集に適した製品です。

■ 電子部品

日本 車載を中心に、自動化による高付加価値品生産を推進

2018
坂戸事業所建替



2019下
若柳車載量産開始



2021
若柳車載生産増強

2022
坂戸車載第2工場

車載関連は工場完成後、量産を開始して収益確保できるまでのタイムラグが課題だが、計画的投資により最適な対応を行う。

東アジア 中国も地産地消、地開（開発）地承（承認）を中心に、自動化・効率化を推進

2019～2022
中国工場再編

2022
中国車載工場

**東南
アジア**

手数のかかる量産品はミャンマー・バングラデシュに生産移管し、業務をグローバル最適配置

2008 光波買収
バングラデシュ拠点設置



2014
ミャンマー子会社化



欧米

2010
大型トランス参入

2010～2018
大型トランス生産拠点拡大

エネルギーインフラ需要が見込める新興国での地産地消を推進

■ 電子化学実装

日本 高機能品・開発品は、自動化された最新鋭の日本工場で生産

2014 児玉第二工場



東南アジア 家電から車載まで成長著しいタイに、インド市場も見すえて新工場開設

2018 タイ新工場



東アジア 中国・韓国は地産地消、地開（開発）地承（承認）を推進

2018 タムラ化学韓国研究棟



欧米 車載関連企業の集積するドイツに開発から製造まで一貫して対応できる中核拠点を設置

2017 ドイツ拠点



3. 2020年3月期 通期業績予想

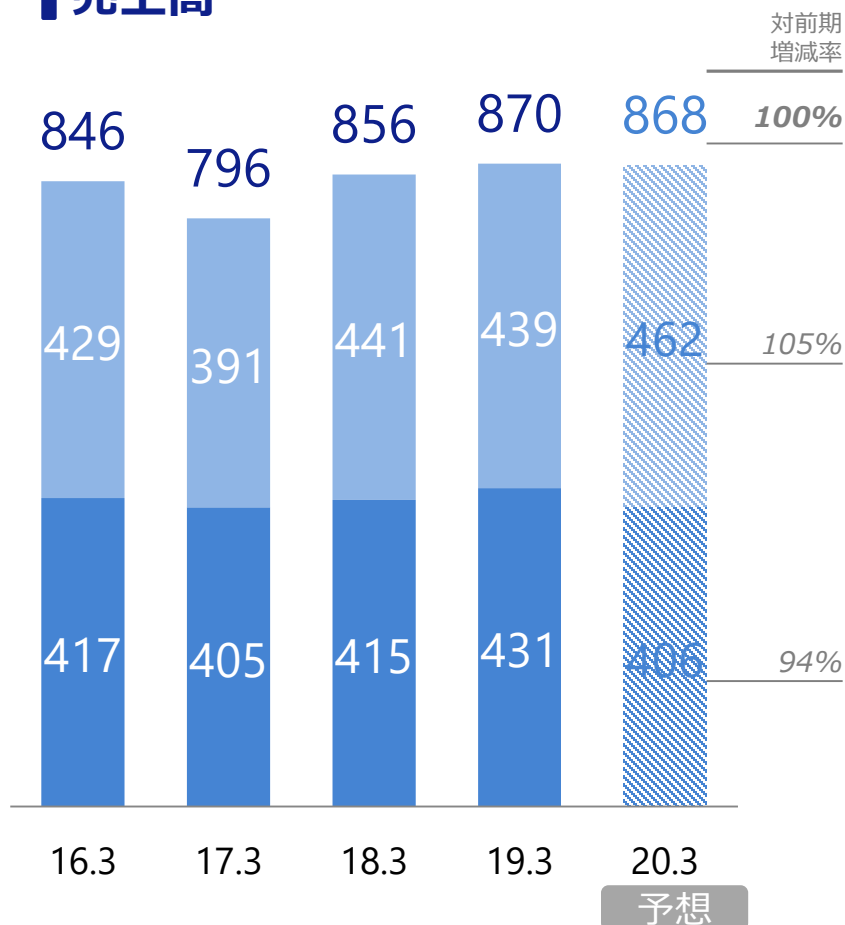
- ◆ 中国市場向け・産業機械向けの売上は厳しい状況が続くが、下期より車載向けなど新たな伸長を目指す
- ◆ 修理費用などの一時的な減益要因は解消するものの、スマホ・産機などの高付加価値製品が厳しく、減益
- ◆ 20.3期予想では大型の特別損益は見込んでおらず、当期利益は前期比で減少

[百万円]

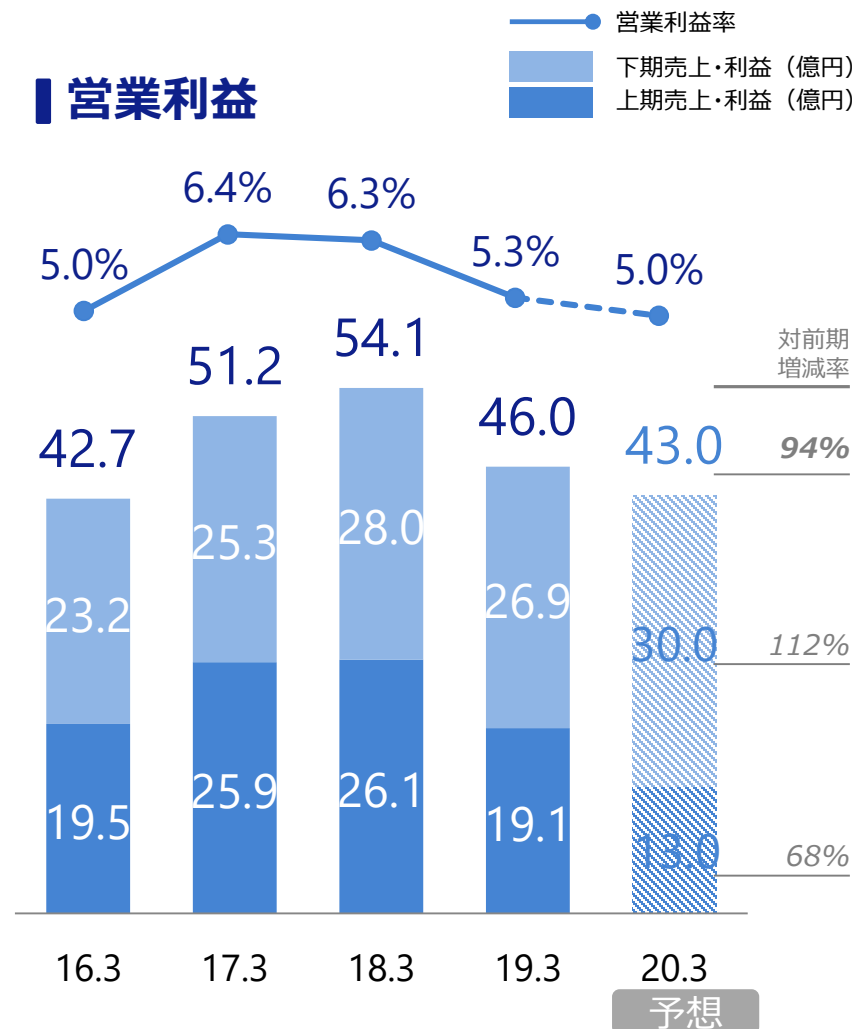
		2019.3期			2020.3期		
		実績	構成比	前期比	予想	構成比	前期比
売上高		87,008	100.0%	+1.7%	86,800	100.0%	▲0.2%
営業利益		4,600	5.3%	▲14.9%	4,300	5.0%	▲6.5%
経常利益		4,848	5.6%	▲11.5%	4,200	4.8%	▲13.4%
当期純利益		6,397	7.4%	+76.2%	3,000	3.5%	▲53.1%
為替 (円/米ドル)	期中平均	110.02		▲0.57	110.00		▲0.02
	期末	110.99		+4.75	110.00		▲0.99
1株当たり配当		10.00円		+1.00円	10.00円		0.00円
配当性向		12.8%		▲7.5pt	27.3%		+14.5pt
ROE		14.3%		+5.3pt	6.3%		▲8.0pt

- ◆ 上期まで中国市場向け・産業機械向けは厳しい前提で予想を算出。下期より本格回復を目指す
- ◆ 下期は若柳新工場の車載用電子部品の量産開始。放送機器やLED関連製品の期末集中で利益拡大

売上高



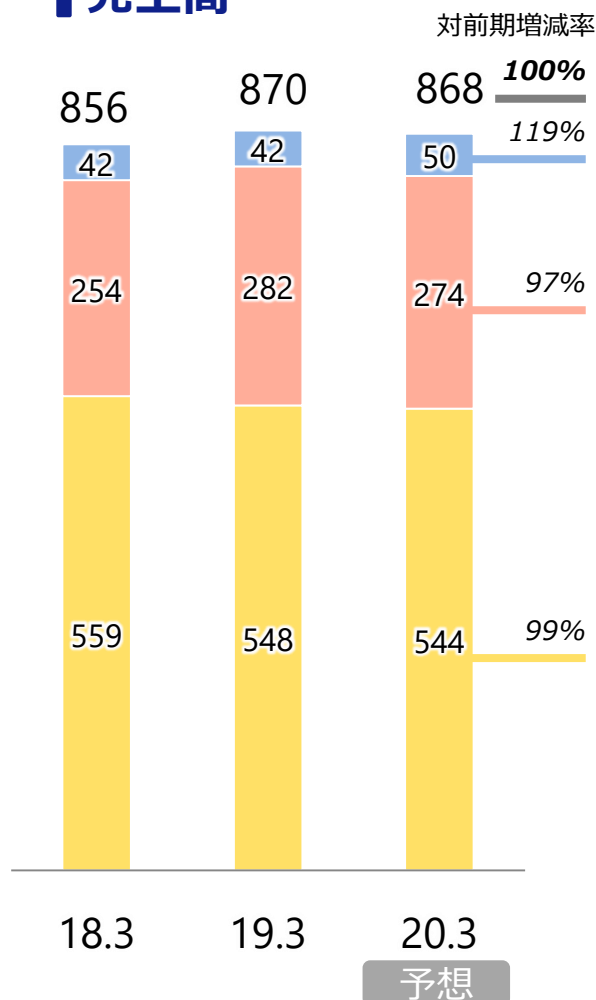
営業利益



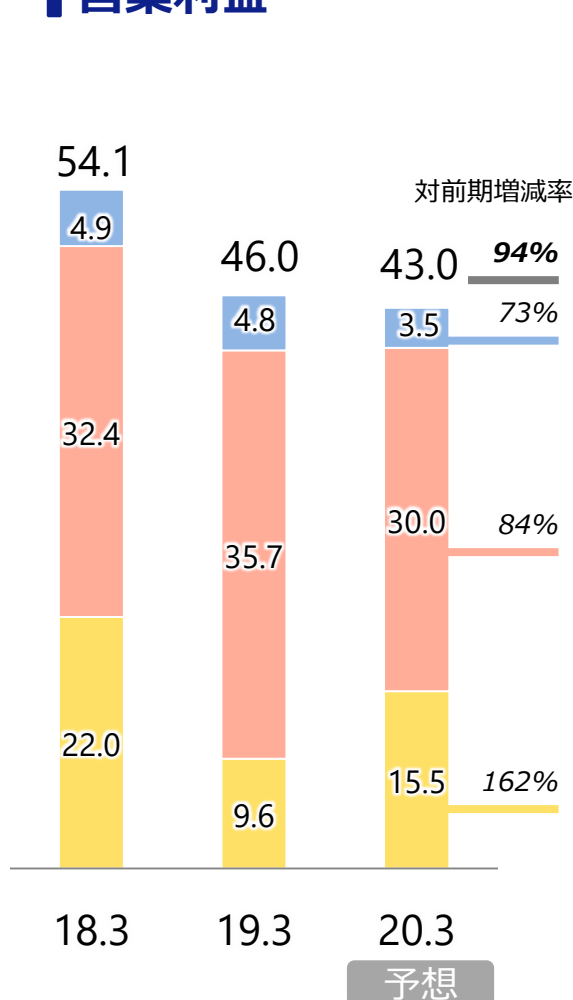
事業部門別の売上高・損益見通し

■ 電子部品関連事業 ■ 電子化学実装関連事業 ■ 情報機器関連事業 ■ 全社 [億円]

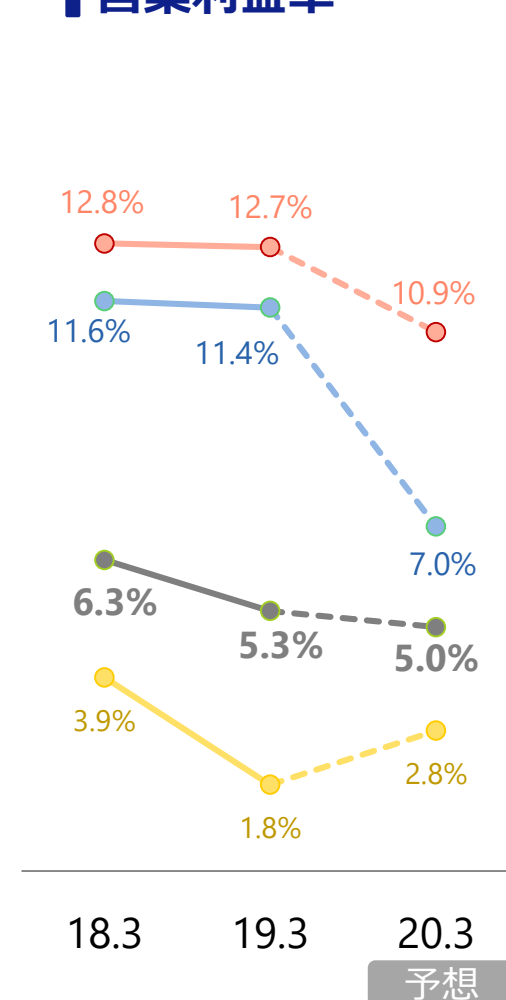
売上高



営業利益



営業利益率

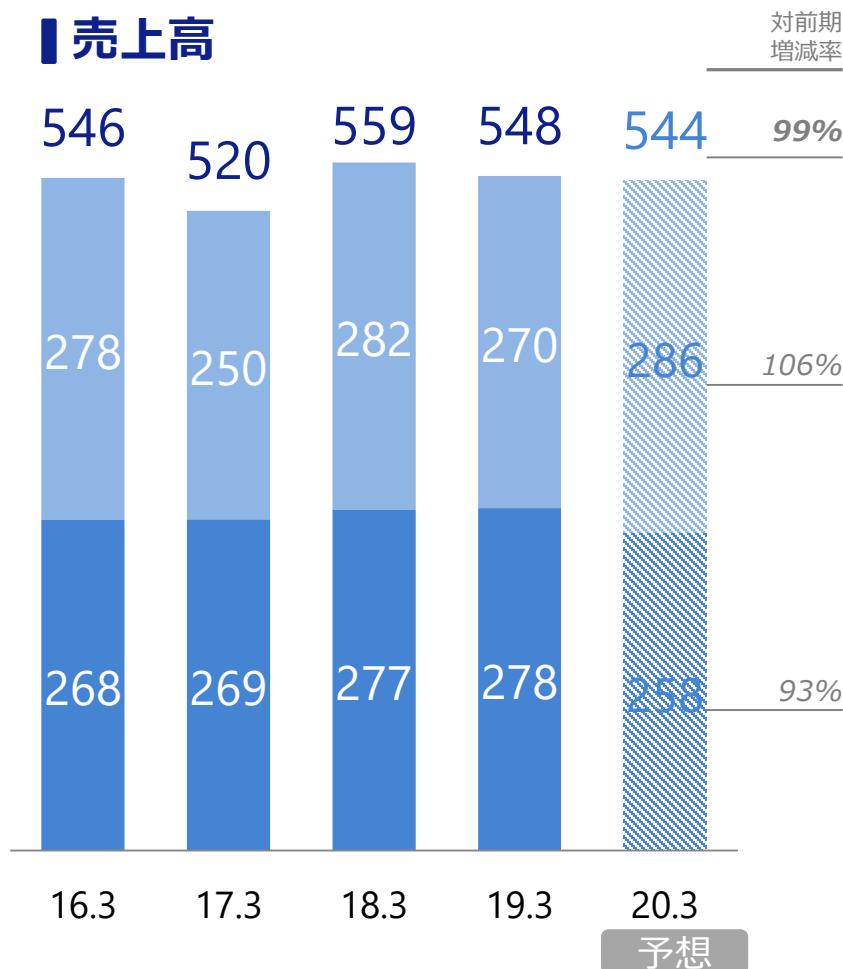


注：連結消去（主に全社未来開発費）により、営業利益の全社の値と、事業部門の合計が一致しません。

- ◆ 上期は産業機械向けが厳しい。下期に車載用リアクトル・自動販売機モジュールの増加を見込む
- ◆ 前期の修理費用や中国工場稼働悪化など減益要因が解消し、収益性は改善

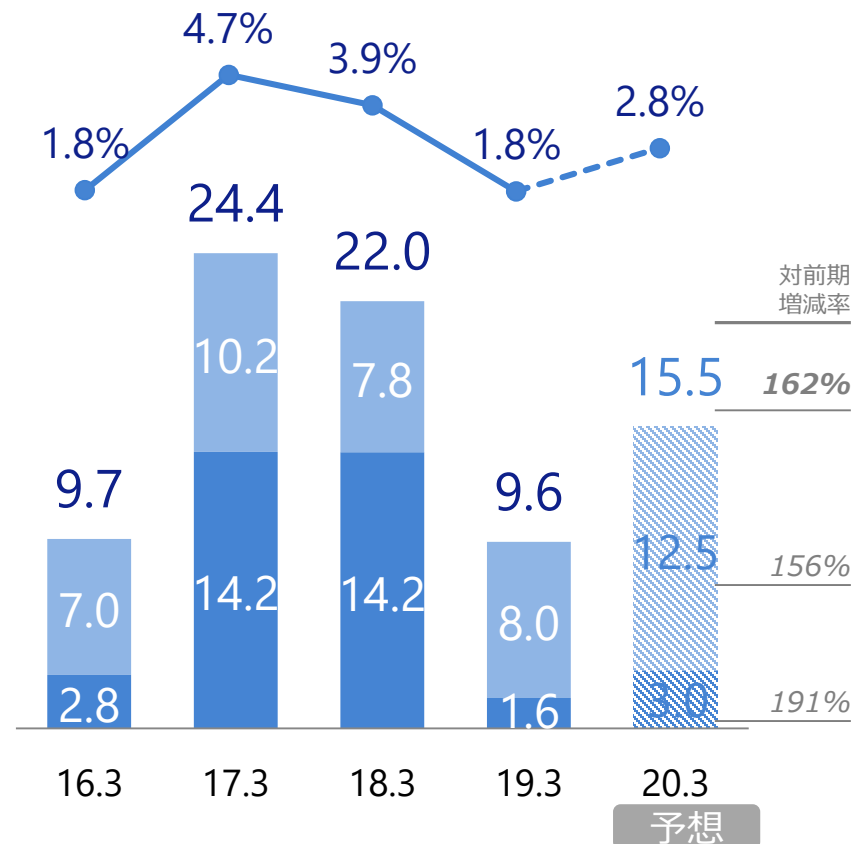
売上高

対前期
増減率



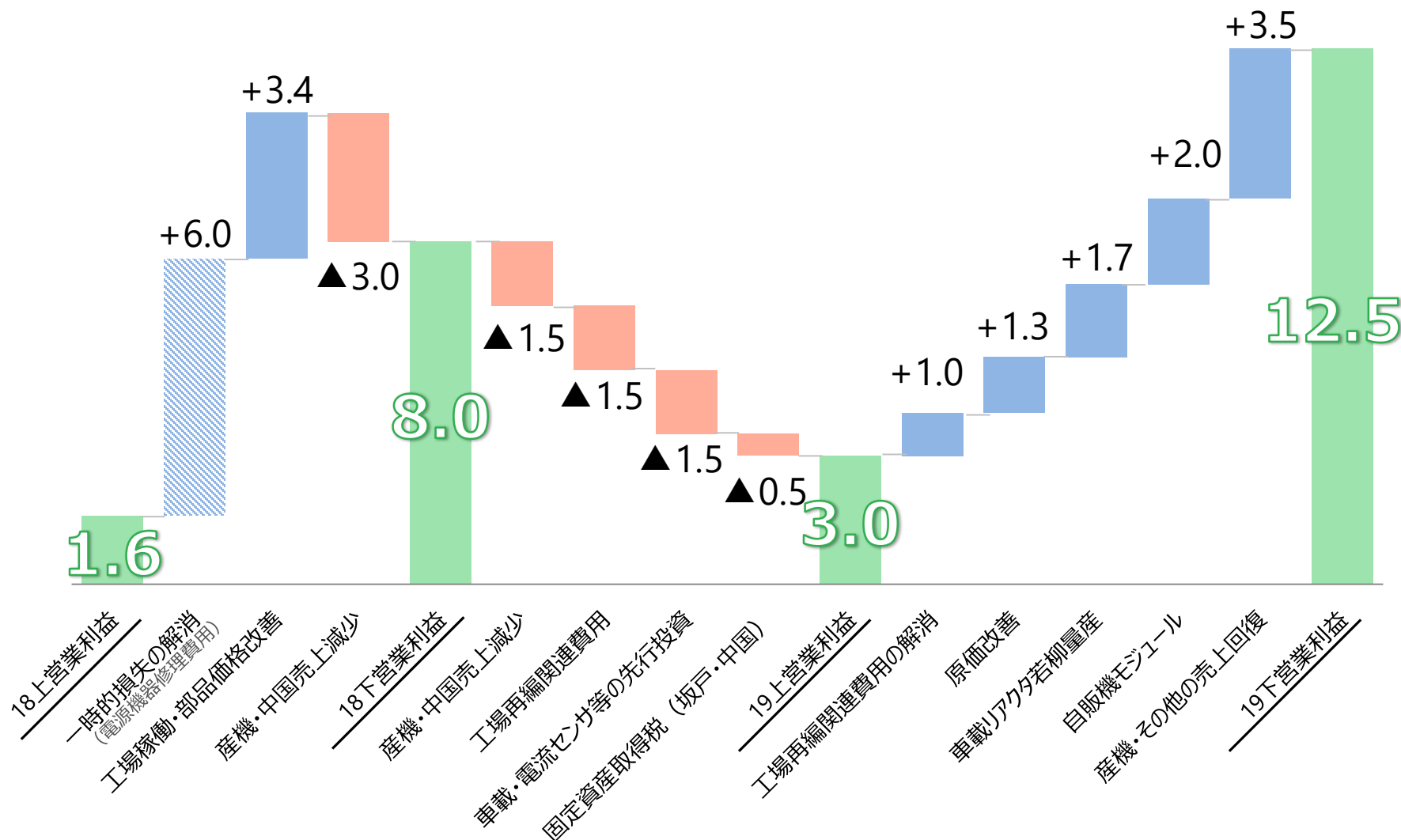
営業利益

営業利益率
下期売上・利益 (億円)
上期売上・利益 (億円)



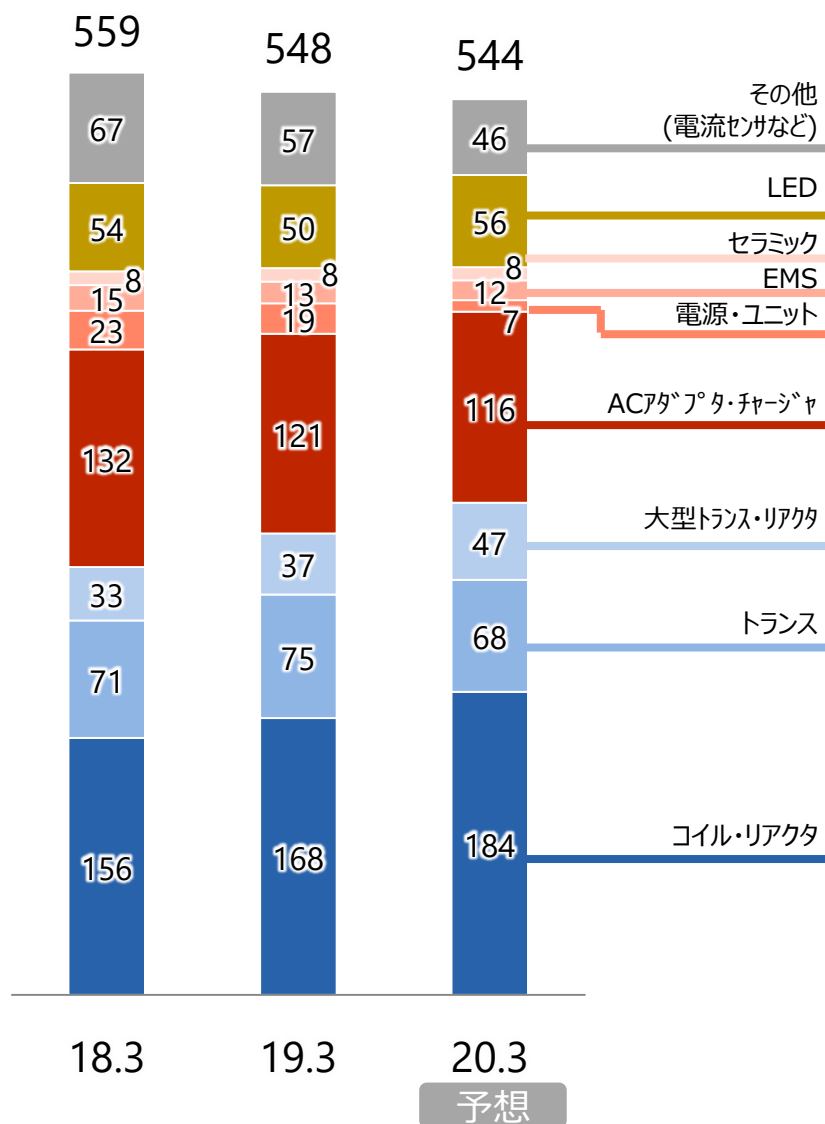
電子部品関連事業の営業利益増減要因

[億円]



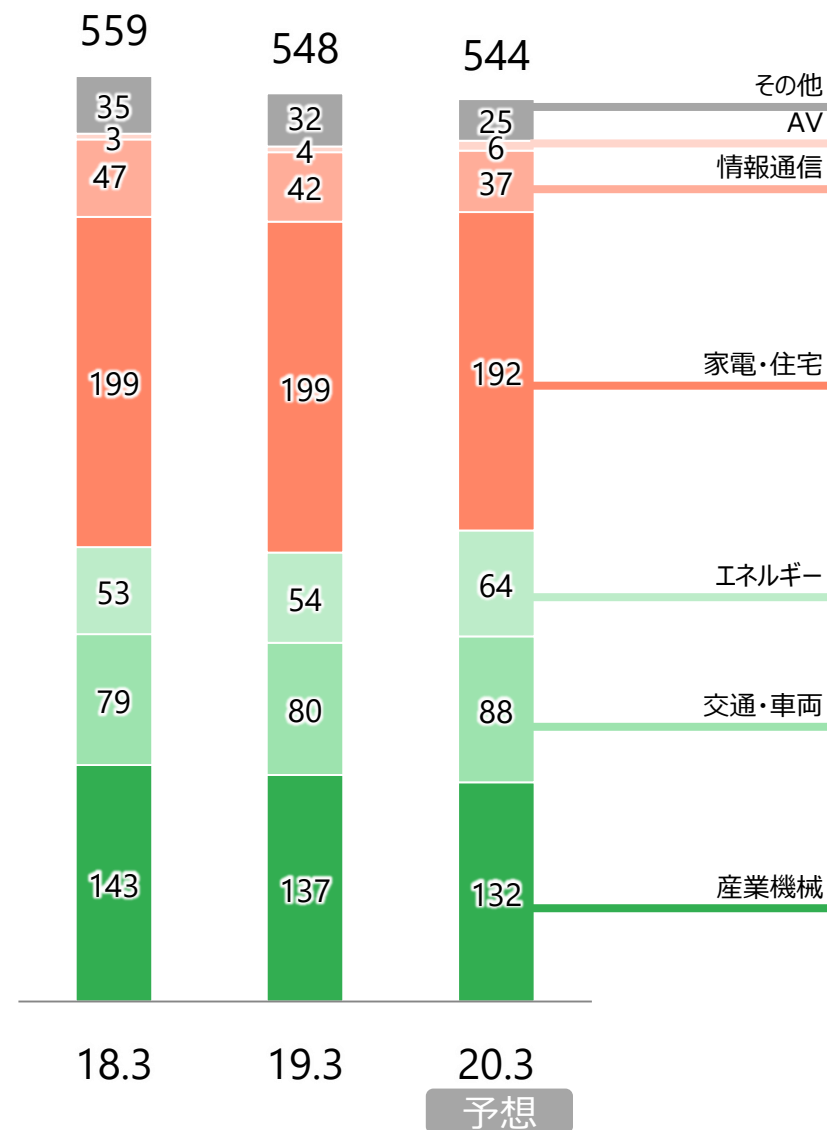
製品別 売上高

[億円]



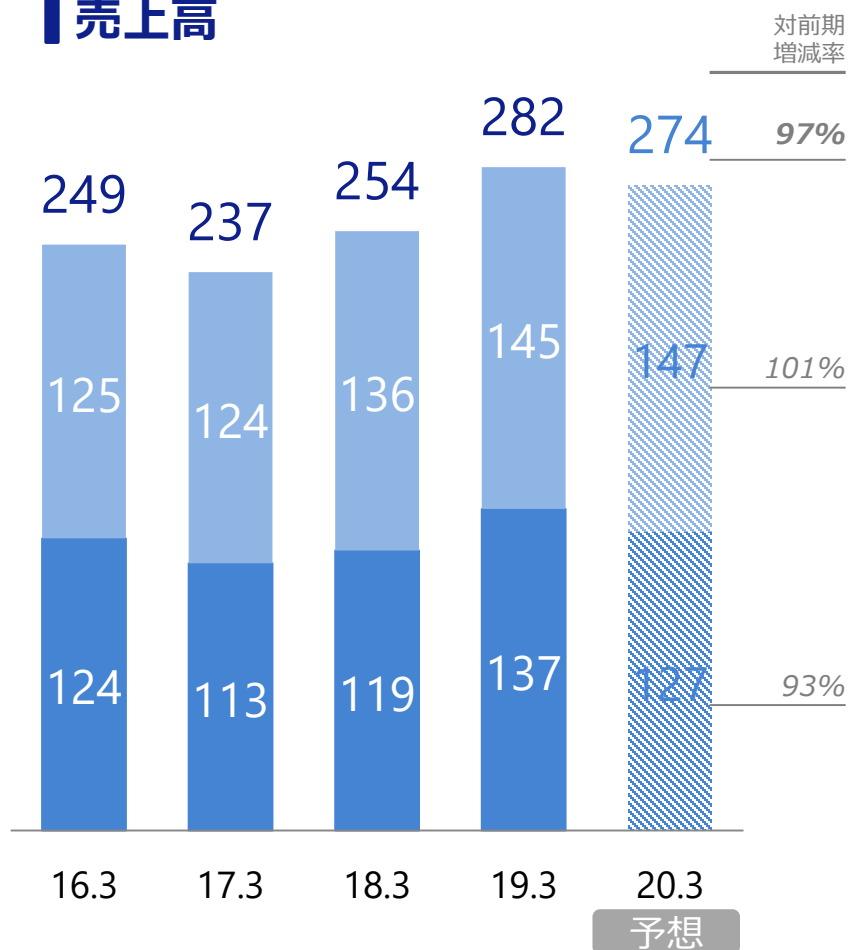
市場別 売上高

[億円]

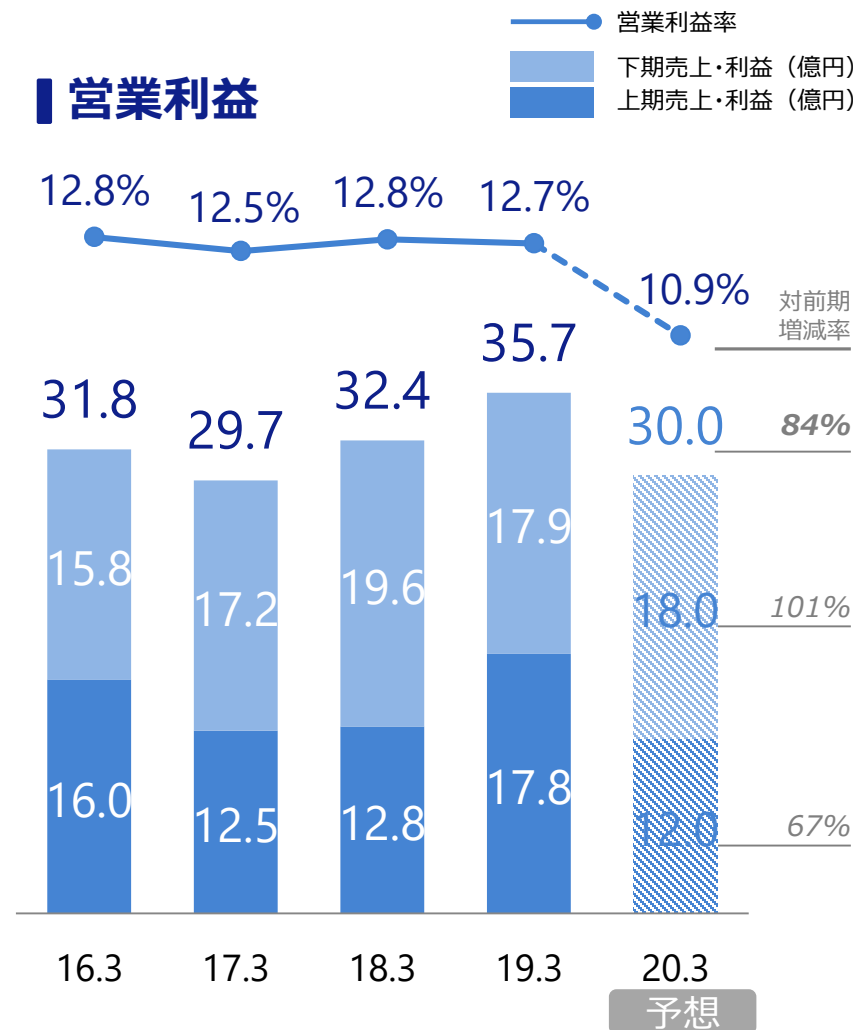


- ◆ スマートフォン向けのフレキシブル基板材料は、新機種が立ち上がるまで厳しい見通し
- ◆ 車載用溶剤ペースト・溶剤レジスト・リフロー装置は、引き続き堅調な伸長を見込む

売上高

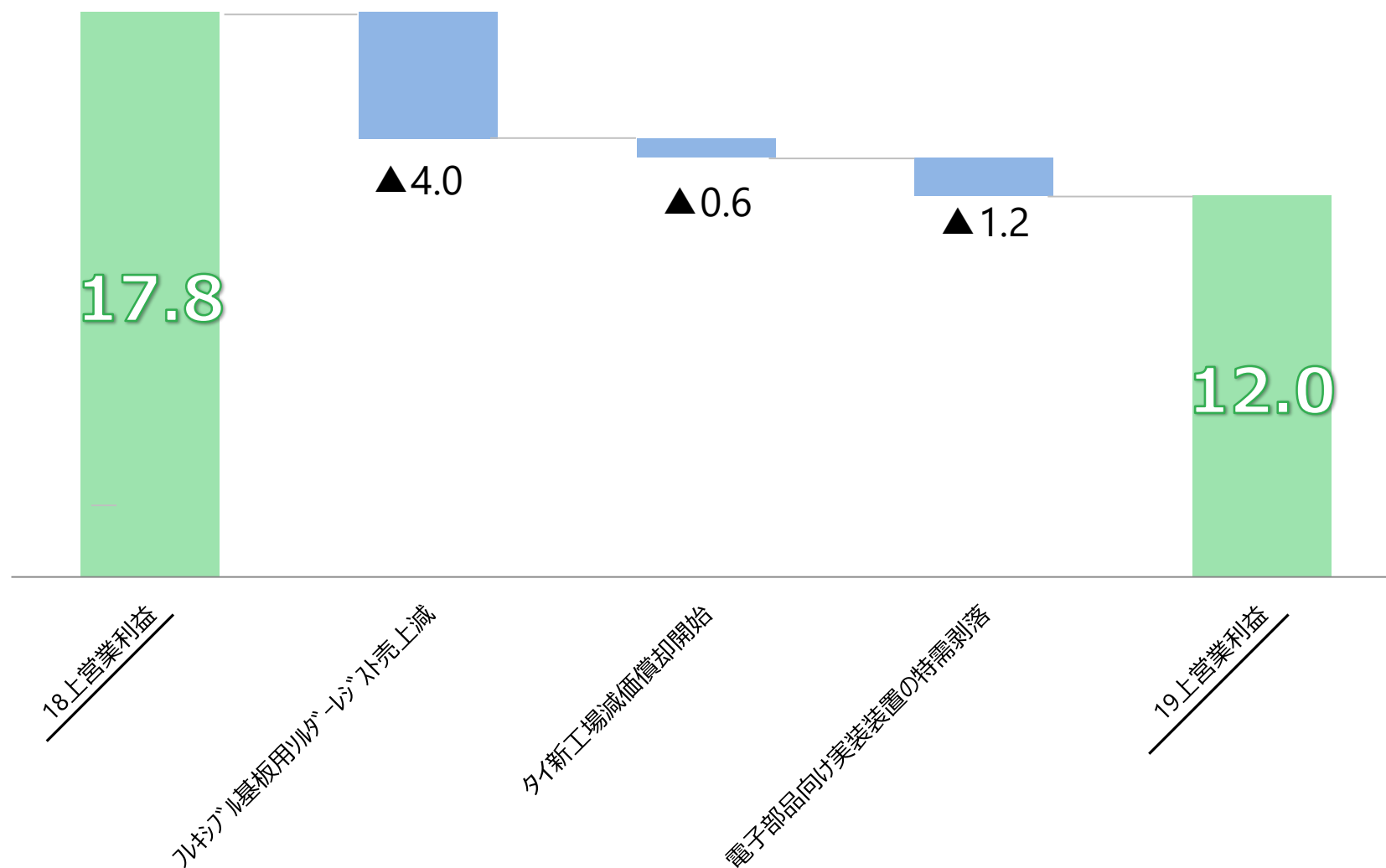


営業利益



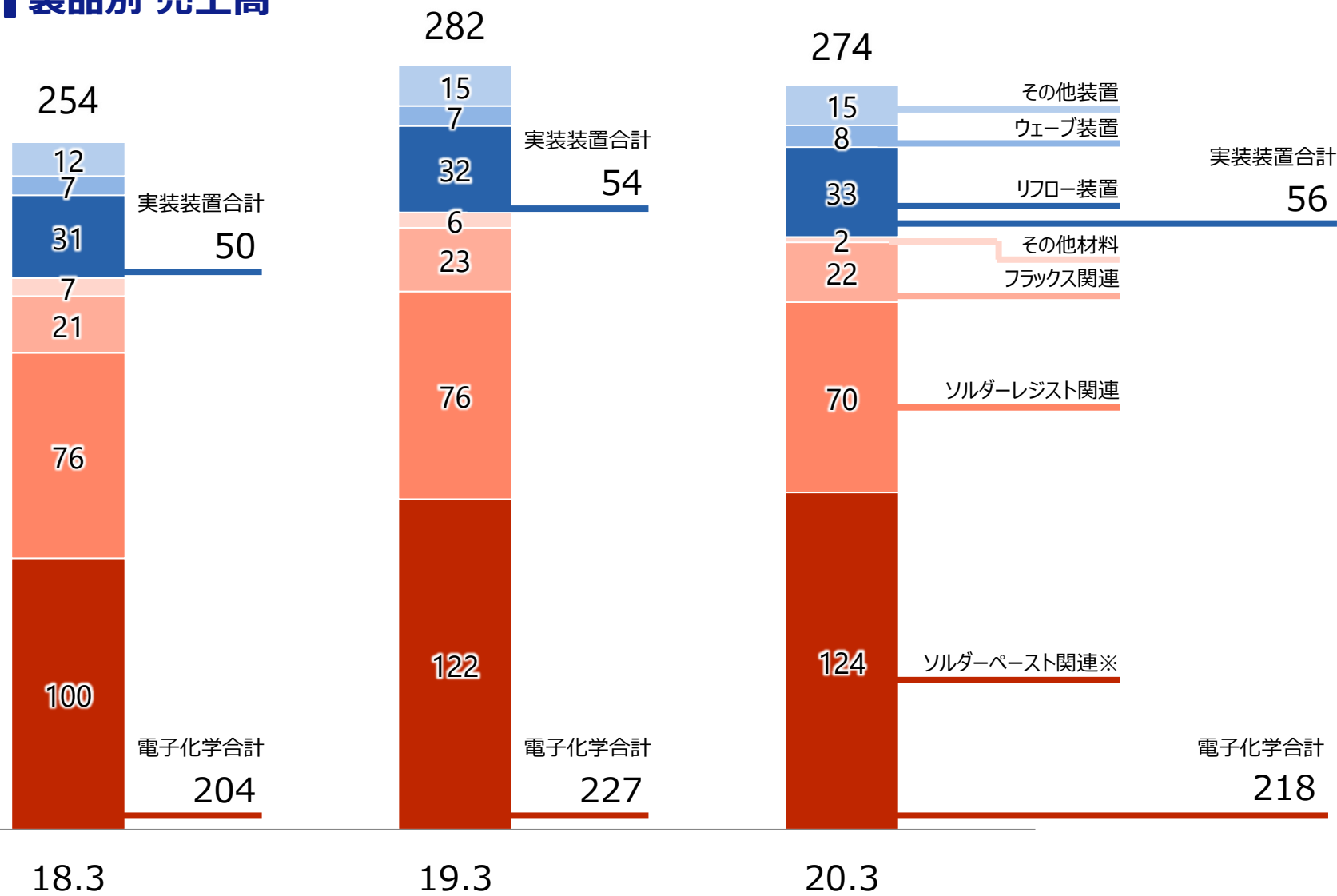
■ 電子化学実装関連事業の営業利益増減要因

[億円]



[億円]

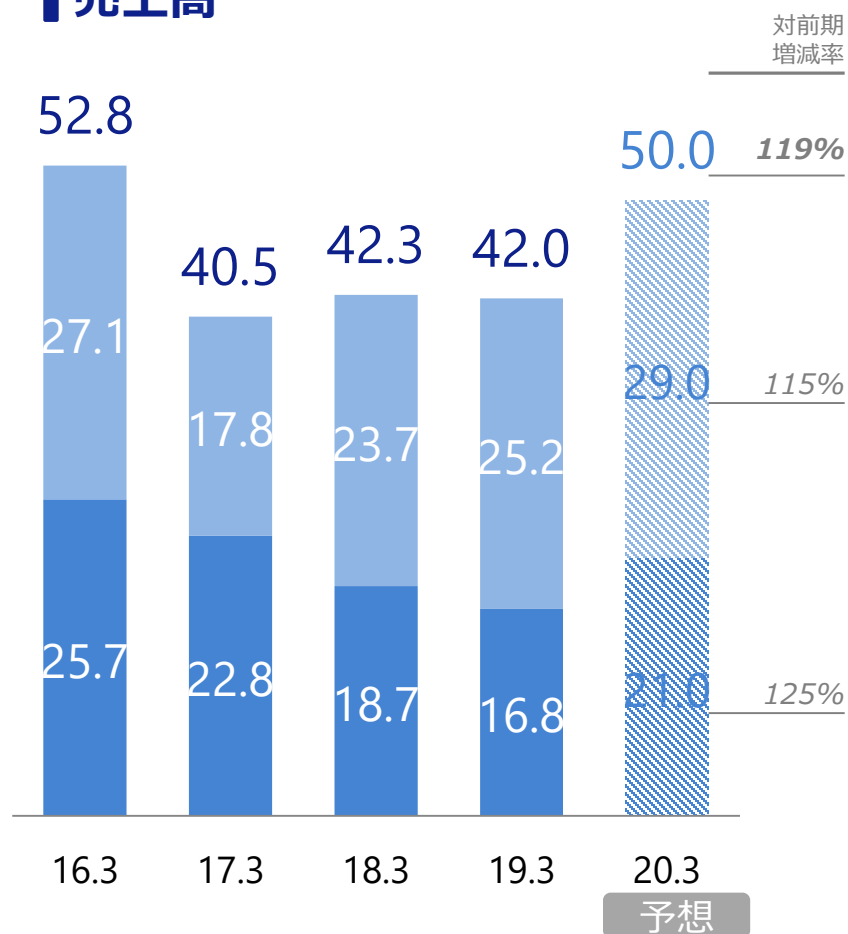
製品別 売上高



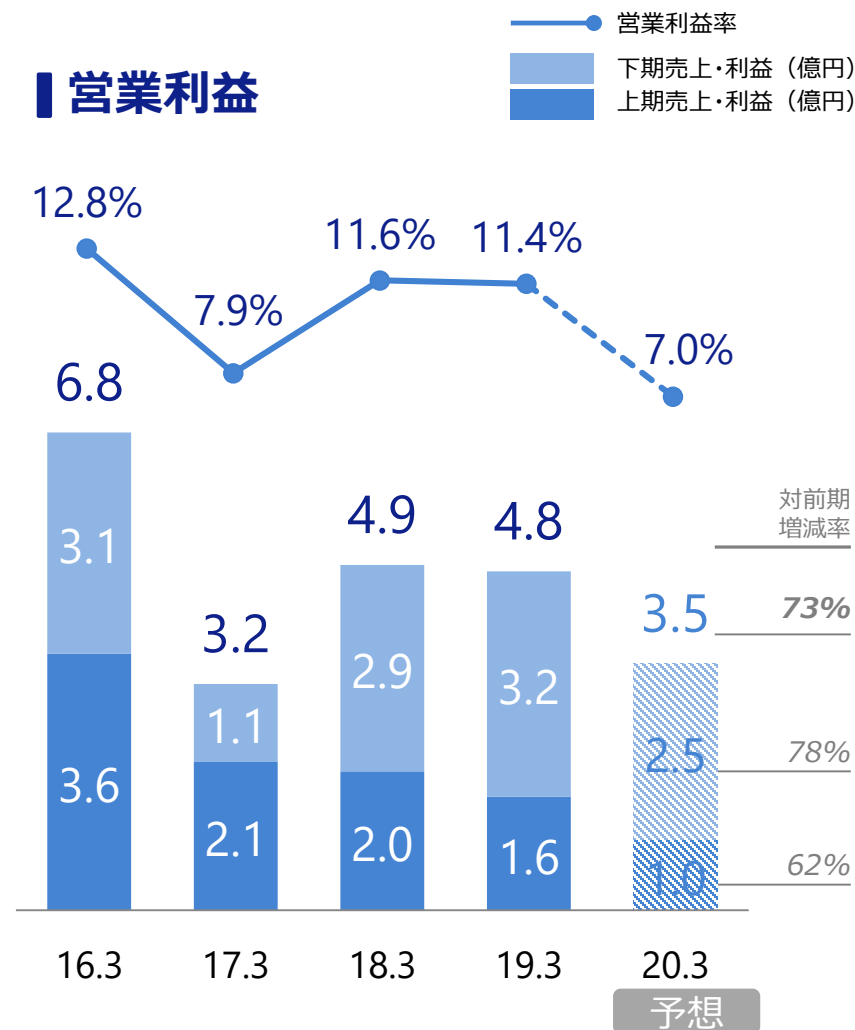
※ソルダーペースト関連は、2018年度より連結子会社化した ドイツ・タイ新拠点の影響で、年間売上約10億円が増加

- ◆ 世界的スポーツイベントの開催などに向けて、民放向け音声卓の売上拡大を見込む
- ◆ 売上は増加するが価格は厳しく、利益率は低下を見込んでいる

売上高



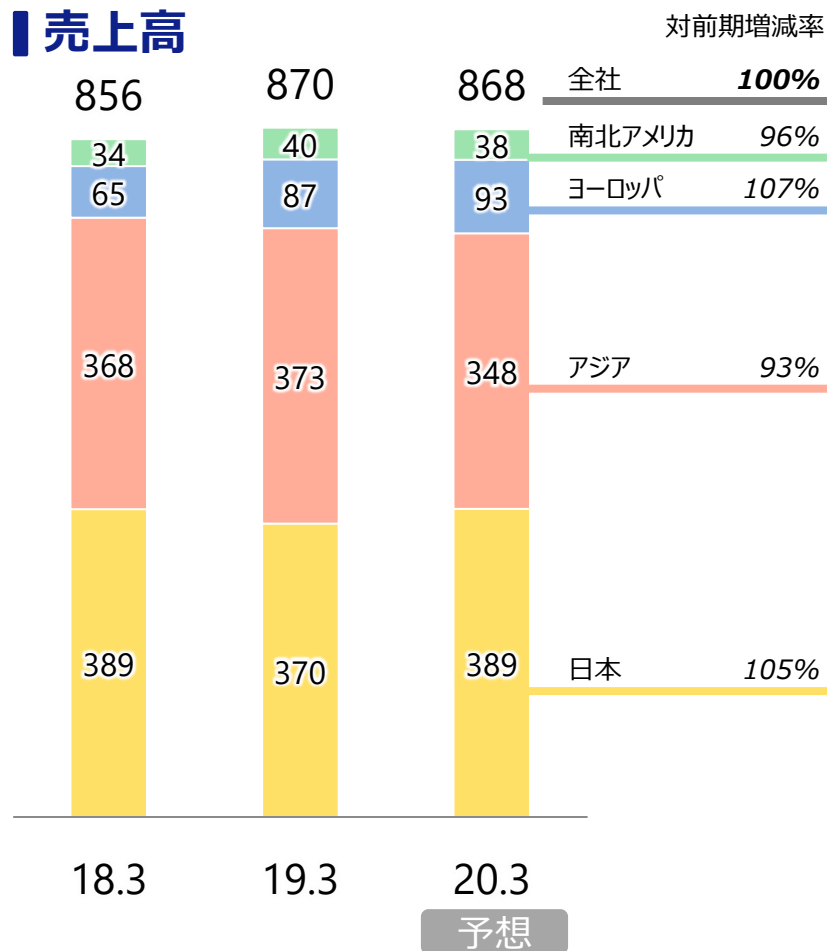
営業利益



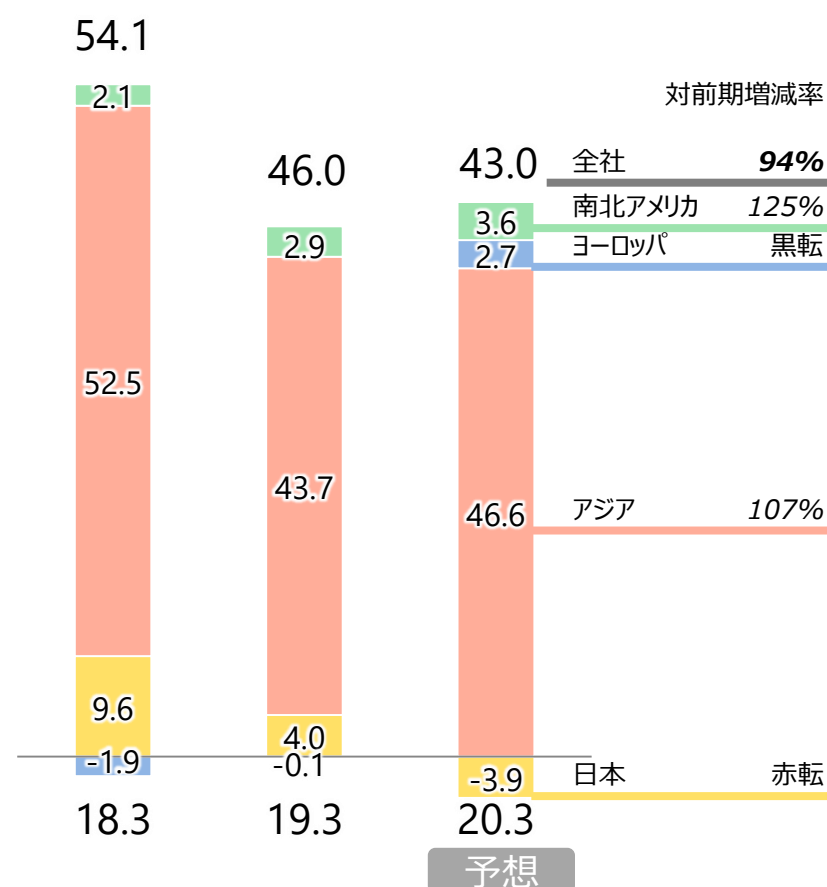
- ◆ 日本はスマートフォンや産業機器向けが厳しい。アジアは前期の一時的減益要因が解消し減収ながら増益
- ◆ ヨーロッパは電子化学ドイツ新拠点の利益寄与や、送配電向け大型トランスの拡大により黒字転換

[億円]

売上高



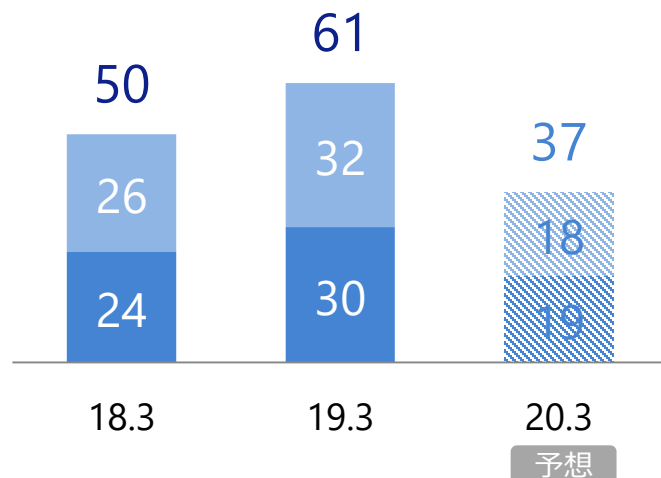
営業利益



注: 連結消去により、営業利益の全社の値と、地域の合計が一致しません。関係会社間における事業支援金のやりとりは無いものとして地域別営業利益を表示しています。

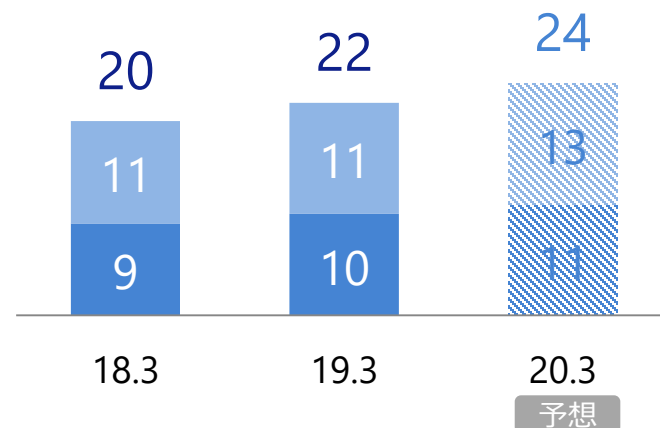
設備投資

※リースを含む

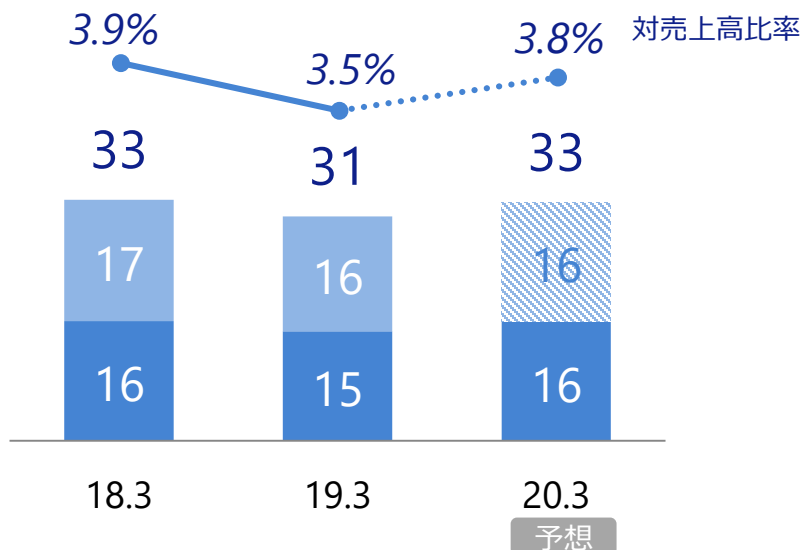


減価償却費

下期 (億円)
上期 (億円)



研究開発関連費用



主な設備投資

- 電子部品: 車載関連生産設備増強 (若柳新工場ほか) 埼玉事業所建替関連
- 電子化学実装: 国内外生産設備増強 (ドイツ・タイほか)

主な開発投資

- 電子化学材料 新素材関連
- 車載用電子部品関連
- セミコン・結晶開発 (酸化ガリウム) 関連

注: 「研究開発関連費用」は、研究開発テーマに関わる経費・労務費・設備投資などを、当社の基準で集計している値です。

ご清聴ありがとうございました



【付録】 参考資料

資本金：11,829百万円
連結従業員数：5,021名
連結売上高：87,008百万円
東証一部上場
代表取締役社長：浅田昌弘

売上高：2019年3月期実績
従業員数：2019年3月現在

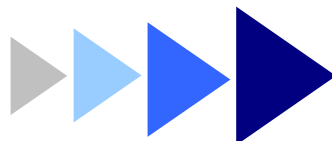


1924年創業

「田村ラヂオ商会」



トランスを**極**める！



電子部品関連



- 1956年～ カットコア
磁性材料
- 1956年～ 電源装置
- 1994年～ 圧電トランス
- 2008年～ LED 関連製品

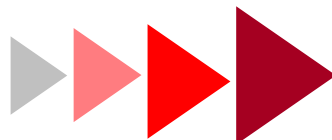
音を**極**める！



1924年～

ラジオ、蓄音機の製作・販売

接合技術を**極**める！

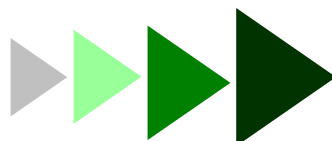


電子化学実装関連



- 1956年～ フラックス
- 1957年～ リグ-ペースト
- 1961年～ レジストインク
- 1968年～ はんだ付装置

いい音（信号）を**極**める！



情報機器関連



- 1961年～ 放送用
音声調整卓
- 1976年～ 伝送監視装置

1930年～

トランスの自作化

航空・宇宙で

航空機からロケット・人工衛星まで、究極の耐環境性に社会に貢献しています。

トランス・リアクタ

灯台で

超高輝度で、高い直進性が求められる灯台の光源を省エネルギー化、長寿命化し、メンテナンス性を向上します。

パワーLED

風力・太陽光発電・インフラで

再生可能エネルギーの発電や直流送電の効率向上などに寄与する部品・材料です。

大型トランス・リアクタ

電流センサ

導電性接合材

白色反射材

フラックス

駅で

発着案内などの情報伝達手段として、音声・表示で鉄道運行を支えます。

LED式電光掲示板

ワイヤレスマイクロホンシステム

コンビニや店舗で

店舗サインやショーケースなど、省エネに貢献するLED光源です。

看板用LED照明

ショーケース用LED照明

街の自動販売機で

表示や商品選択だけでなく、スマートフォンとの連動など最新機能を実現します。

金額表示器

商品選択ボタン

電子部品

電子化学実装

情報機器

放送局で

視聴者に届ける音声を調整する機器と、局内連絡用の無線システムです。

音声調整卓

デジタルワイヤレスカム

OFDM方式デジタルワイヤレスマイク

エコカーで

高信頼・高効率な部品・材料で、エコドライブや安心・安全を支えます。

車載用リアクタ・コイル

ソルダーレジスト

ソルダーペースト

スマートフォンやタブレットPCで

多機能化・小型化する機器の進化を支える材料です。

透明絶縁材

導電性接合材

黒色吸収材

工場で

ロボットや工作機械の部品、プリント配線板実装に欠かせない装置が活躍しています。

電流センサ

ゲートドライバモジュール

リアクタ

はんだ付装置

家庭で

エアコンやパソコンの省エネに寄与する部品、エアコンと組み合わせて人の活動状況や睡眠を見守るセンサです。

電流センサ

電源モジュール

リアクタ

人感センサ

タムラ製作所公式ウェブサイトでは会社紹介動画を公開中

<https://www.tamura-ss.co.jp/>

本資料及び引き続き行われる質疑応答の回答の際の業績予想、見通し及び事業計画については、現時点における将来環境予測等の仮定に基づいております。

本資料において当社の将来の業績を保証するものではありません。

株式会社タムラ製作所 経営管理本部
TEL : 03-3978-2031